『相視相愛。』



R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止

人物紹介

三嶋 御幸（みしま みゆき）

宮下 美羽子（みやした みわこ）

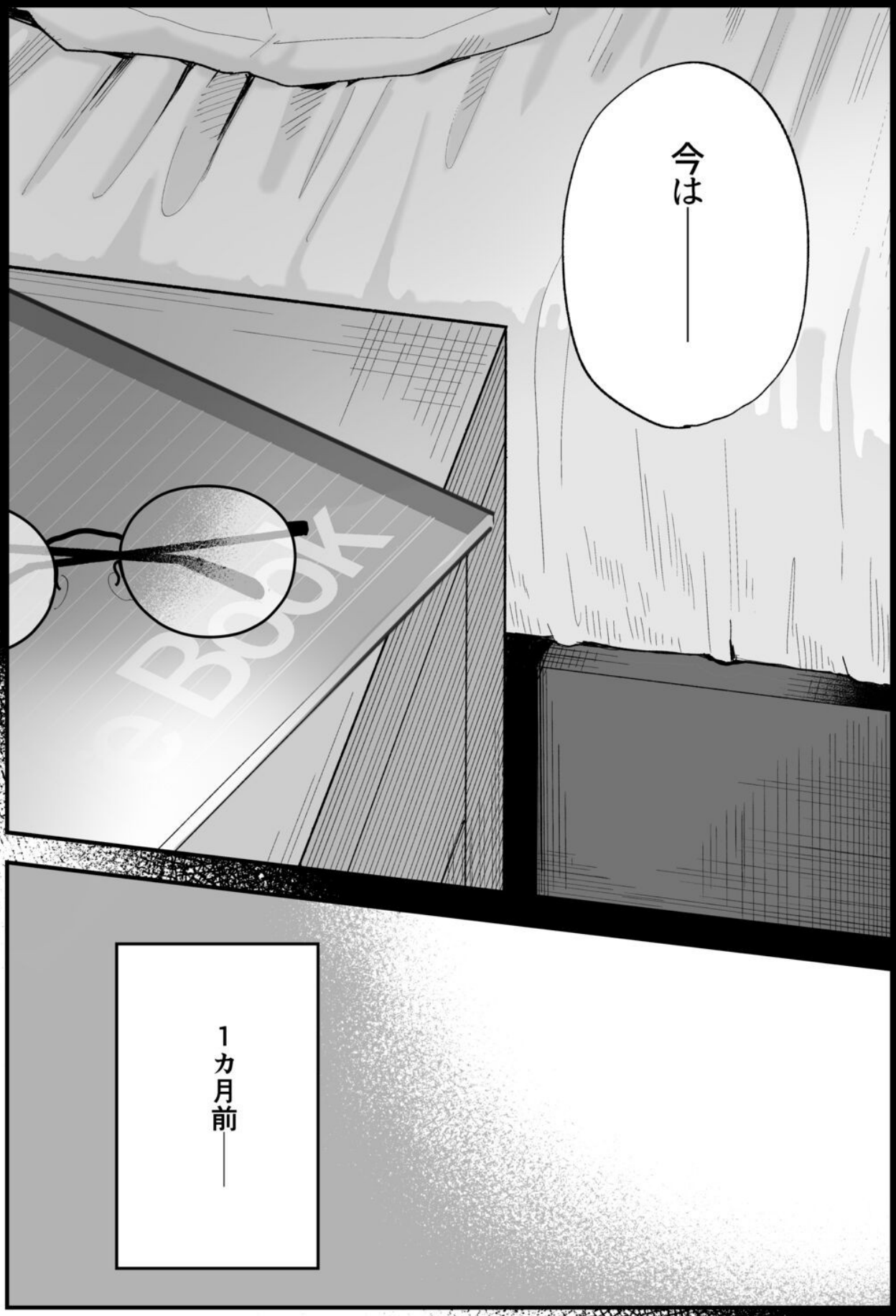



ん…
あっ
あっ
パンッ
パンッ
パンッ
はーっ
はっはっ
はーっ
はーっ
はーっ
ねぇ…
御幸くん…


私の・・・
どういうところが好きだった？
・・・優しいところ
うん
・・・知的なところ
うん
・・・真面目なところ
うん
笑顔が可愛い・・・ところ


じゃあ
今は？
なー
なっ
なっ
なっ
チュッ
ドピュッ


はぁ
はぁ
はー、
はー、
はぁ
はぁ
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はー、はー、
ドクッ…
ドクッ…
ドクッ…


今は――
1カ月前――


好きです！
僕と付き合って下さい！
宮下さん！


漢（おとこ）　三嶋御幸（みしまみゆき）
人生で初めての
告白をした


不束者ですが
よろしくお願いします


月並みだけど
笑顔が素敵だと
思った
同時に――


彼女――
宮下美羽子（みやしたみわこ）の
笑顔は
どこか
見覚えがあった

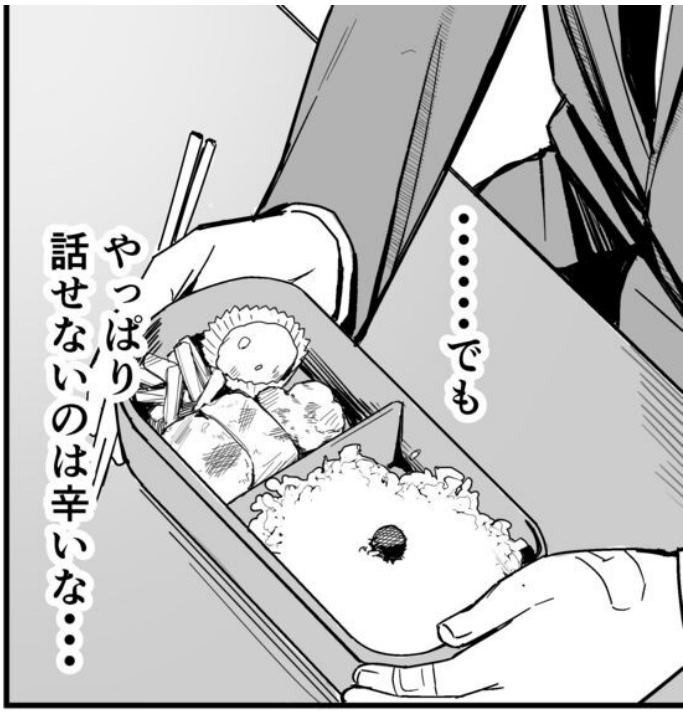

キーンコーンカーンコーン
ぽけ～
夢みたいだ
この僕が女の子と
付き合えるなんて・・・

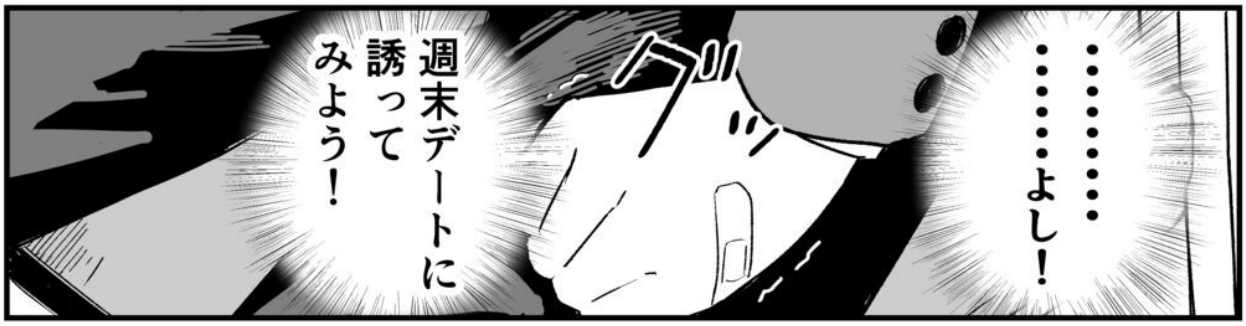

それも
1年の頃からずっと
好きだった女子と！

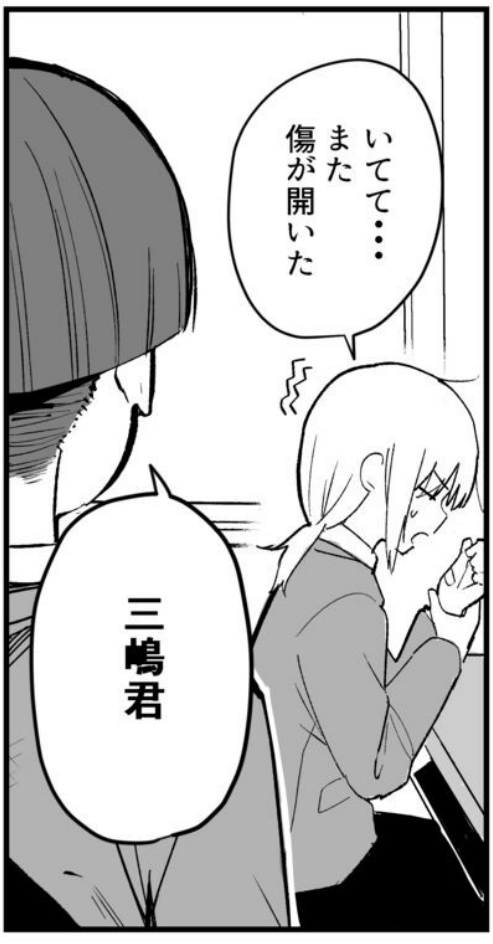

今日から僕は
バラ色の
学園生活・・・！
・・・・・と
そう上手く
いけばよかった
んだけど・・・


学校では
付き合ってること
秘密にしておいて
ほしいの
え？
一身上の
都合で・・・
あまり
目立たない
ようにしたい
というか
・・・
別に
御幸君との関係を
知られたくない
わけじゃなくて
えっと・・・
どう説明したら
いいかな・・・
ぜっ・・・
全然大丈夫！
それくらい
お安い御用だよ！
それに今
僕のこと
御幸君って・・・！
とにかく学内の人に
バレなければいいんだよね？
ごめんね・・・


そういえば
1年の頃からずっと
好きだった割に
宮下さんって
あまり人と関わらない
タイプだから
情報が入ってこない。


……でも
やっぱり
話せないのは辛いな…


……よし！
……
週末デートに
誘って
みよう！


いてて…
また
傷が開いた
三嶋君


村田先生が
生徒指導室に
来いって…
あ…
うん
…


左手
どうしたの？
あ～
ちょっとケガ
しただけ

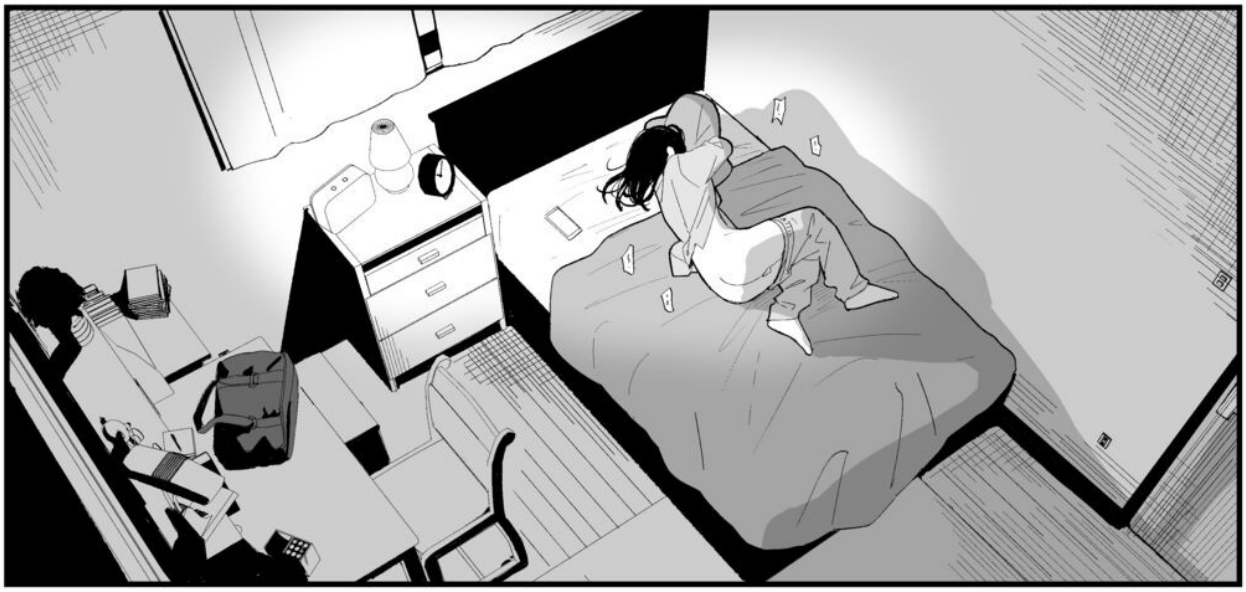

ギッ
ギッ
ギッ
クチュ
クチュッ
グチュ
クチュッ
クチュッ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
んっ
はーっ
はーっ
はっはっ
あっ
はあ
はあ
はあ
あっあっ
ギシ
ギシッ



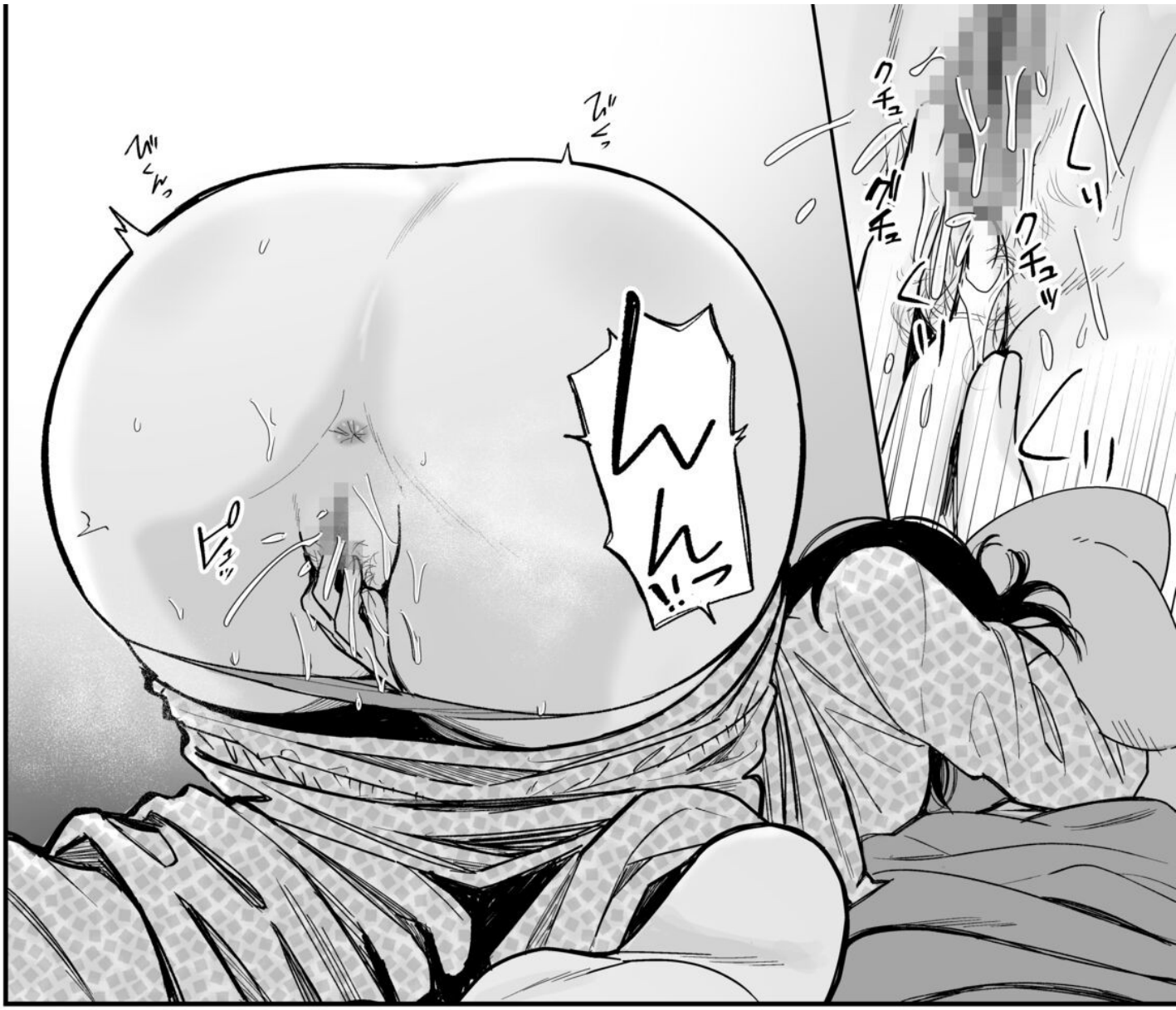











クチュ
グチュ
クチュッ
びくっ
びくんっ
んんっ!!
ピュッ


はー
はー
はー
ボフッ
はぁ
はぁ
はぁ…
はぁ…
ピカッ
ヴヴッ
ヴヴッ
？


えーっと・・・
キョロ
キョロ
現在地
⇩
MOVIE SP
2階の
中央広場は
・・・・・・・
生徒と
鉢合わせないように
隣町まで来てで
待ち合わせしたは
いいけど・・・
ドンッ
ごっ ごめんなさい!!
・・・迷った!
人が多すぎる!
御幸君
初デートで遅刻なんて
宮下さんに
なんて詫びれば・・・っ!

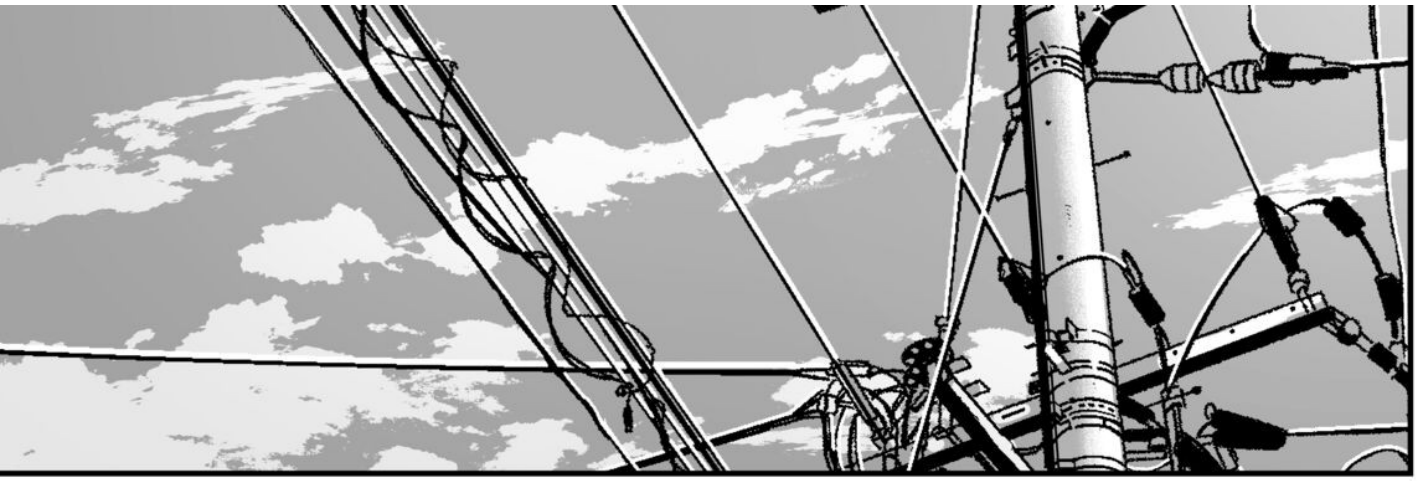

見つけた
か…
可愛い…
……どうかした？
なっ…なんでもないよっ！
ど…どうしてここが…？
たまたま通りかかったんだ
え？
ぎゅっ
この人混みを…？


あれ
また手
ケガしたの？
ごっ…
ごめん！
血ついた？
大丈夫だよ
試着室
初めての
デート
宮下さんから
目が離せなかった…


気が付けば
彼女を
目で追っている
好きになった
理由も確か
そんな感じ
今もそう・・・
ずっと彼女を
見ていたい
・・けれど
記憶の奥底にある
違和感がずっと
拭えないでいた


ずるずると
頭の中を
這い回る不安
それを掬い上げて
しまったらこの夢が
覚めてしまうような


僕はただ
その夢が覚めて
しまわないように
出かかっていた
違和感の正体を
心の奥底に
仕舞った

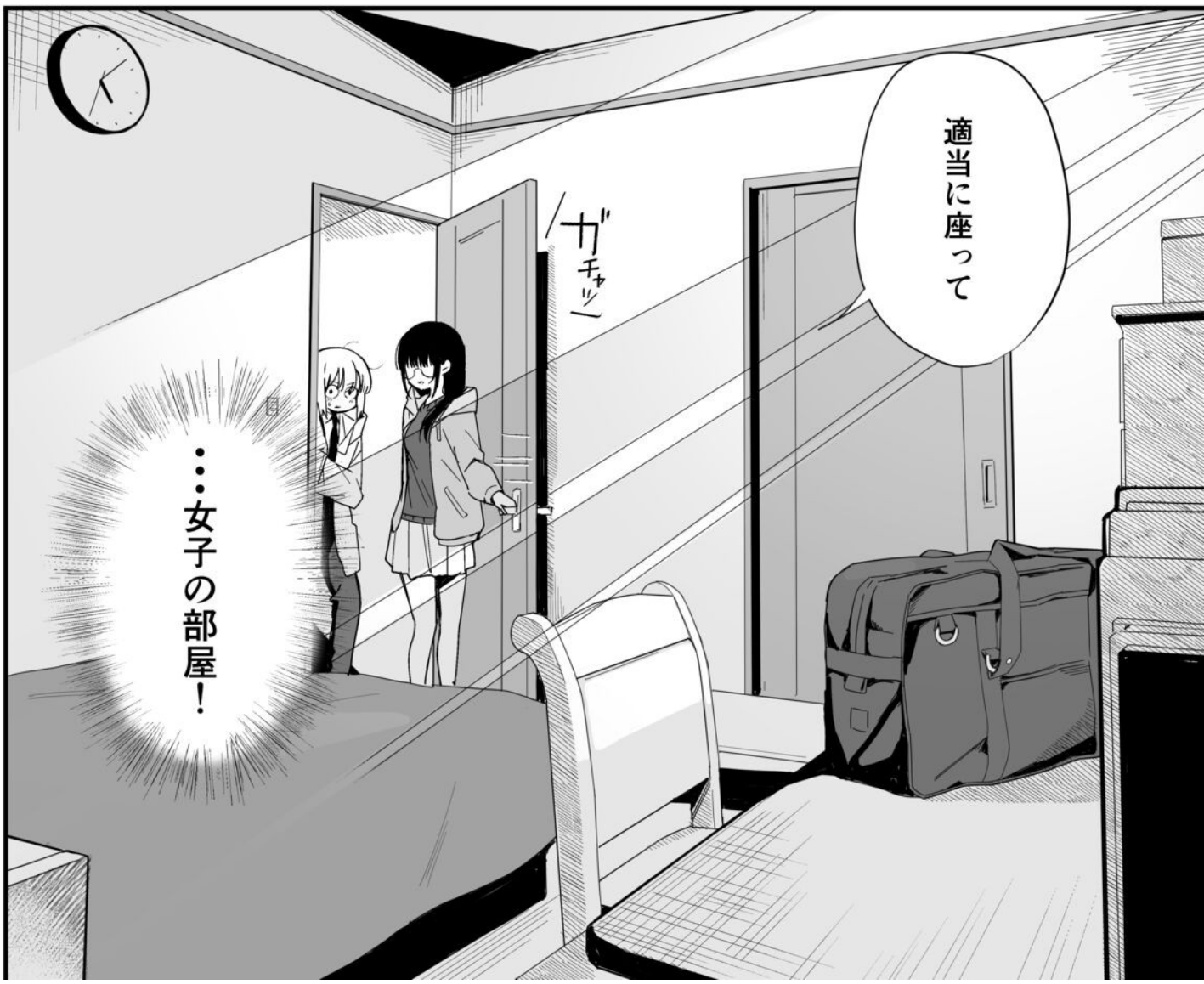



MIYASHITA


カチャッ
いらっしゃい


ピポーン


今日私一人だから心配しないで
でっ…電話で言ってたっけ
来るの早すぎたかな
ううん用事で外に出てたから大丈夫


適当に座って
ガチャッ
…女子の部屋！

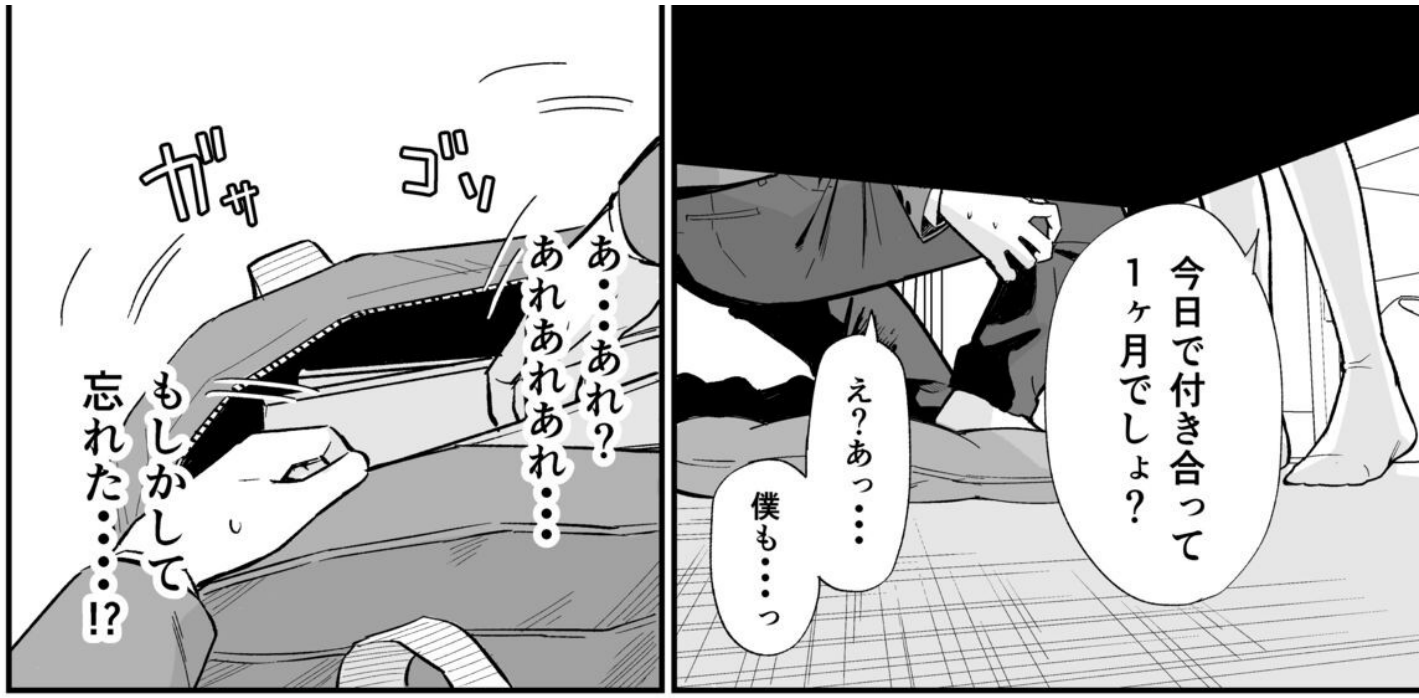

・・・テスト勉強で
女子の部屋は
結構・・・
いや
かなり緊張する！
・・・しかも
二人きり!!

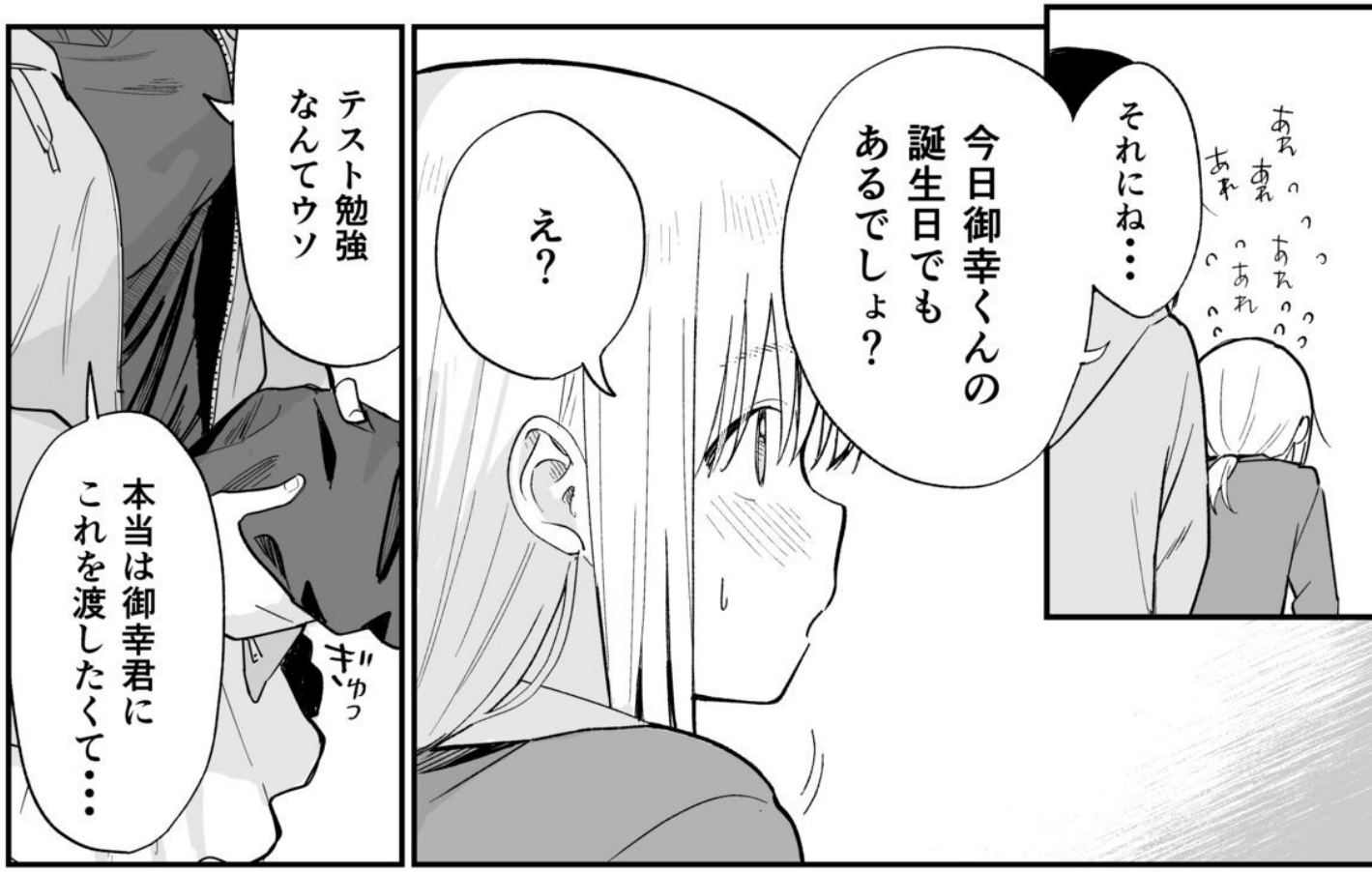

・・・・・


しょ・・・
初日は国語と地理
だったよね？
うん・・・


御幸くん
ビクッ
はいっ!!


先に
渡しておくね

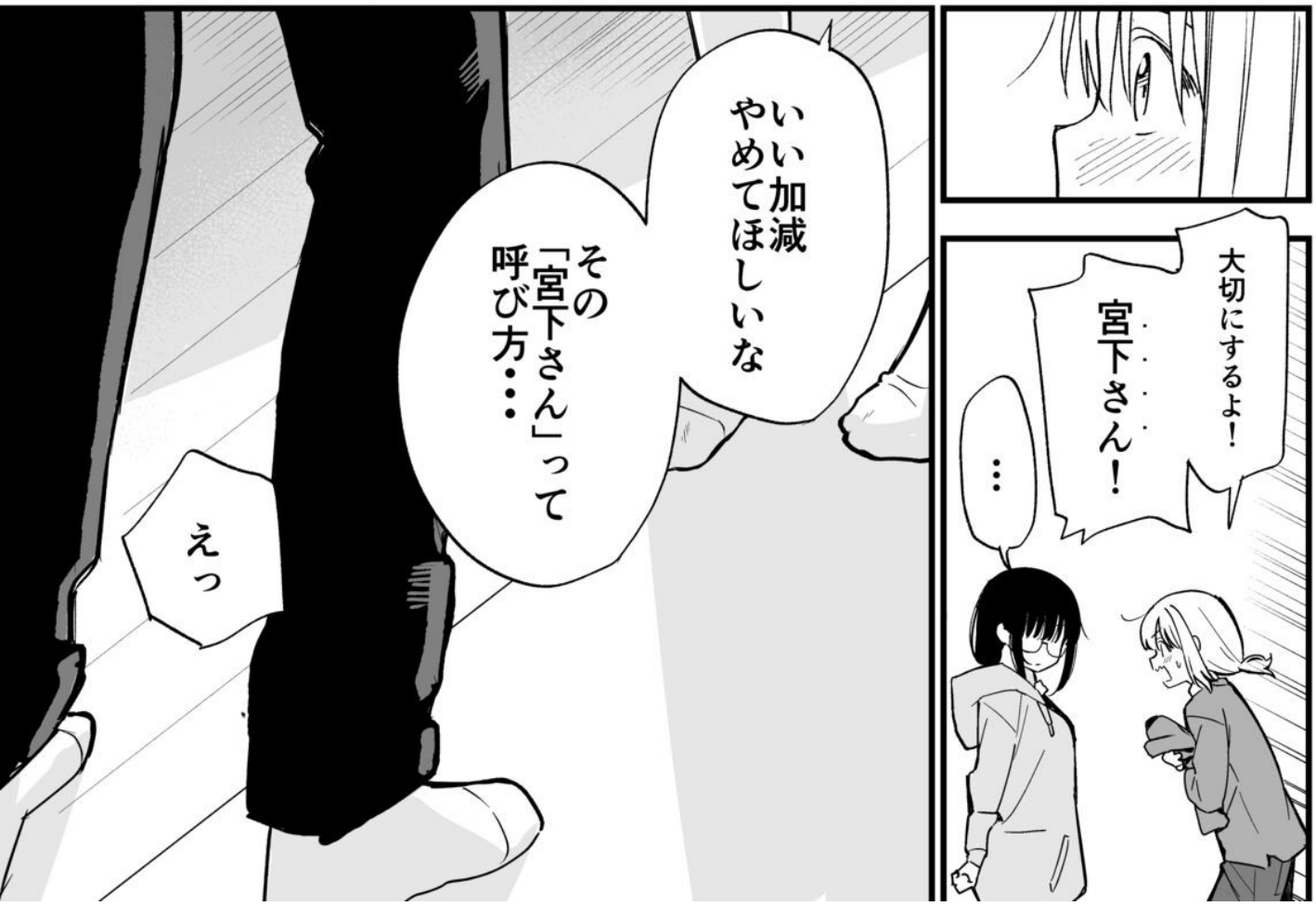

今日で付き合って1ヶ月でしょ？
え？あっ…
僕も…っ
ガサ
ゴソ
あ…あれ？
あれあれあれ…
もしかして
忘れた…!?


それにね…
あれ
あれ
あれ
今日御幸くんの
誕生日でも
あるでしょ？
え？
テスト勉強
なんてウソ
本当は御幸君に
これを渡したくて…
キュッ

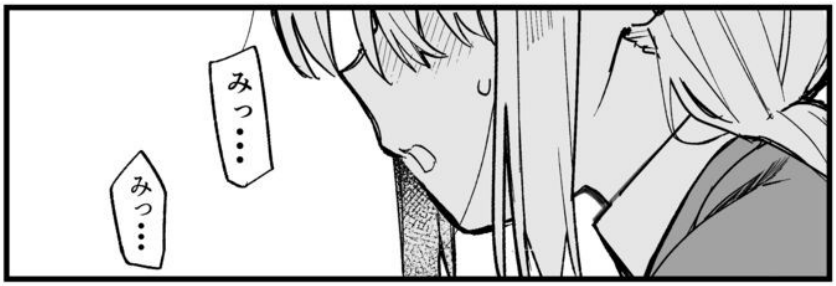

誕生日おめでとう
御幸君


KITCHEN SET
・・・これ
全部料理に使う


どうして
僕が欲しいもの
わかったの？
よく手に
絆創膏
つけてたよね
私もよく台所で
怪我してたから
誰かのために
料理するのって
すごいと思う


大切にするよ！
宮下さん！
・・・・
・・・
いい加減
やめてほしいな
その
「宮下さん」って
呼び方・・・
えっ


私だけ名前で
呼んでるのも…
なんか…ね
はは…
……

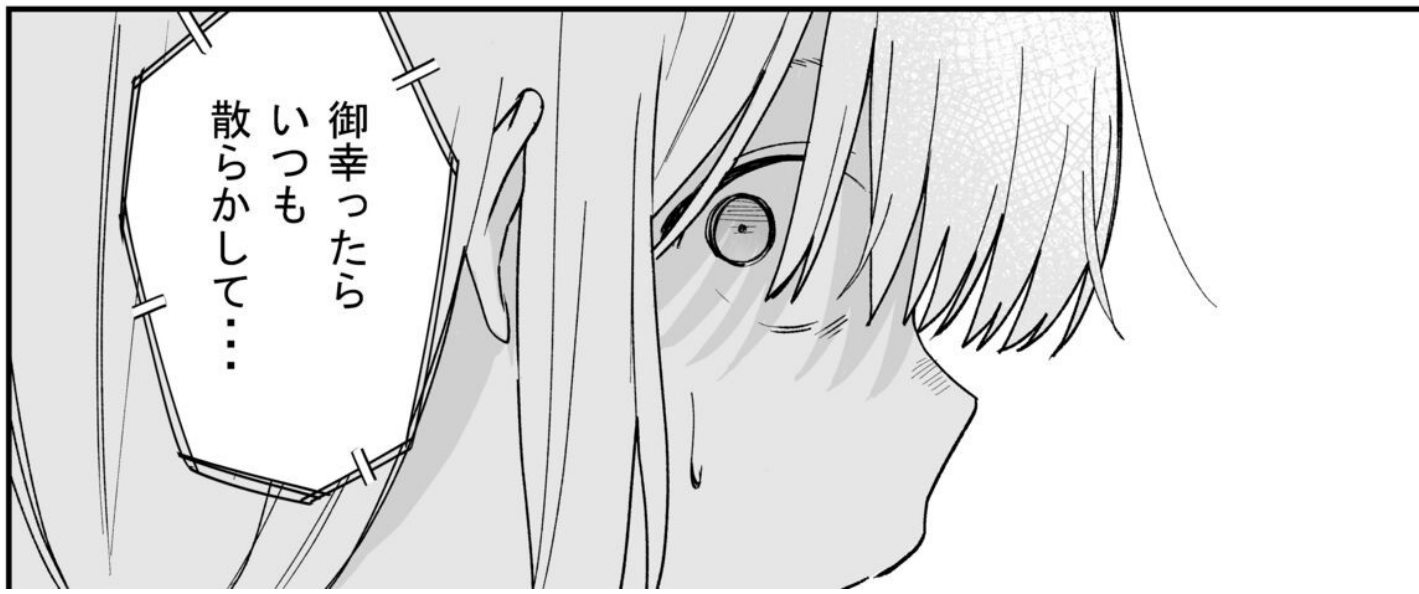

みっ…
みっ…

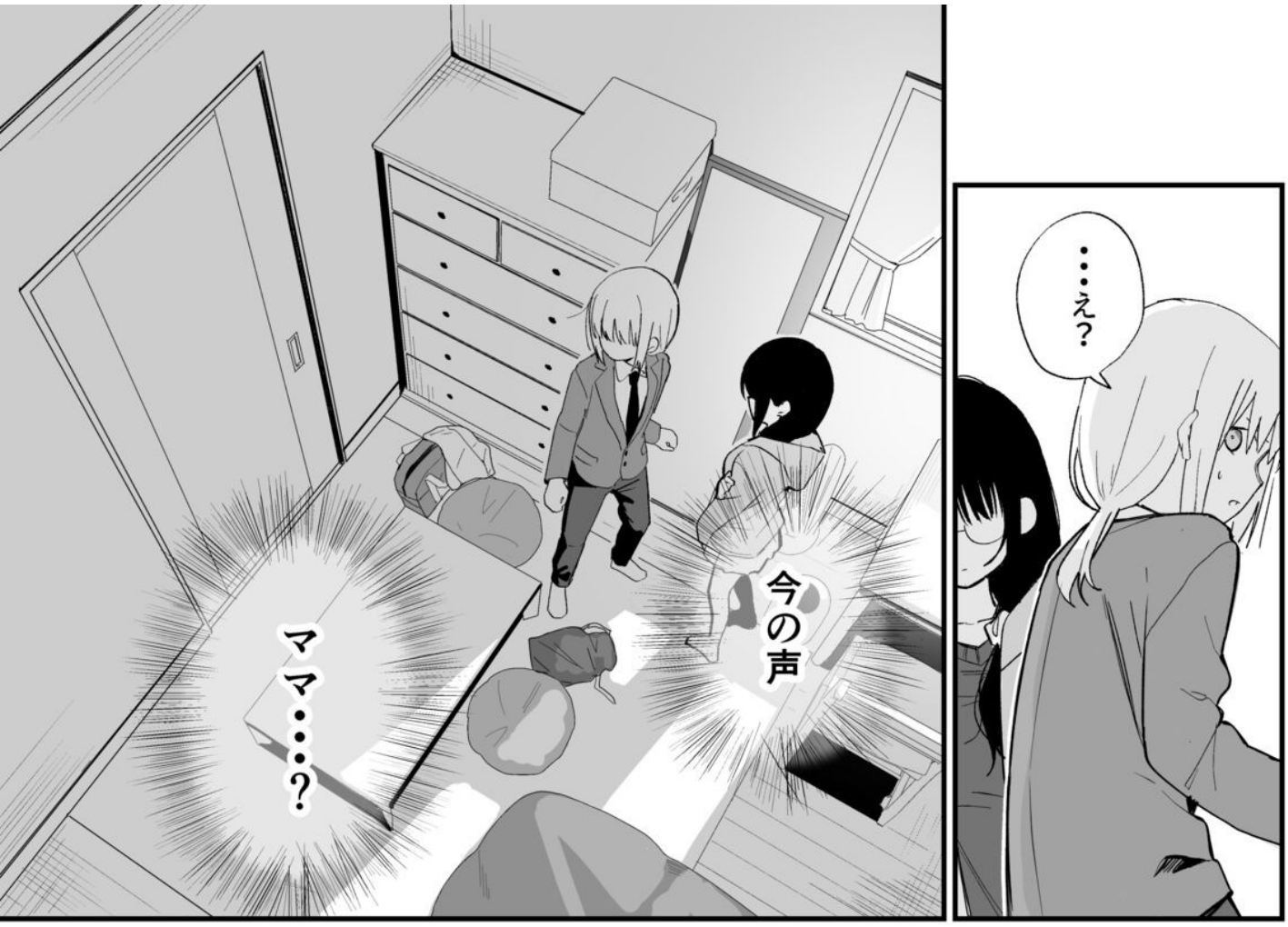

……
御幸…くん？


美羽子ちゃんっ！


スタ
スタ
ガシッ
御幸くん…？
今なら…
いいよね？
美羽子ちゃん
雰囲気もバッチリ
だって恋人だし
これが
ぼっ…僕の
初めての…


ガタ
……
あら…
なにこれ
ビクッ

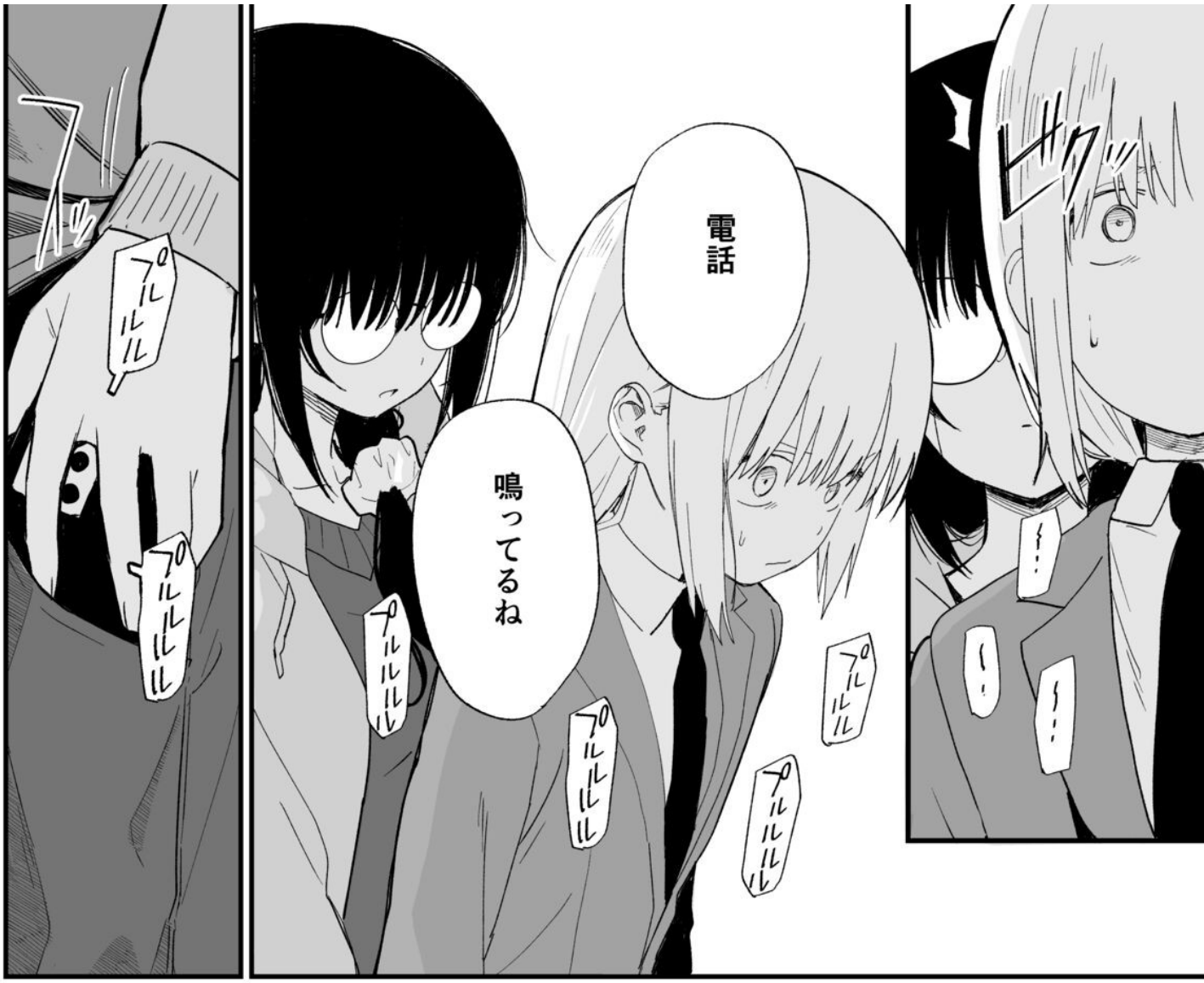

御幸ったら
いつも
散らかして…

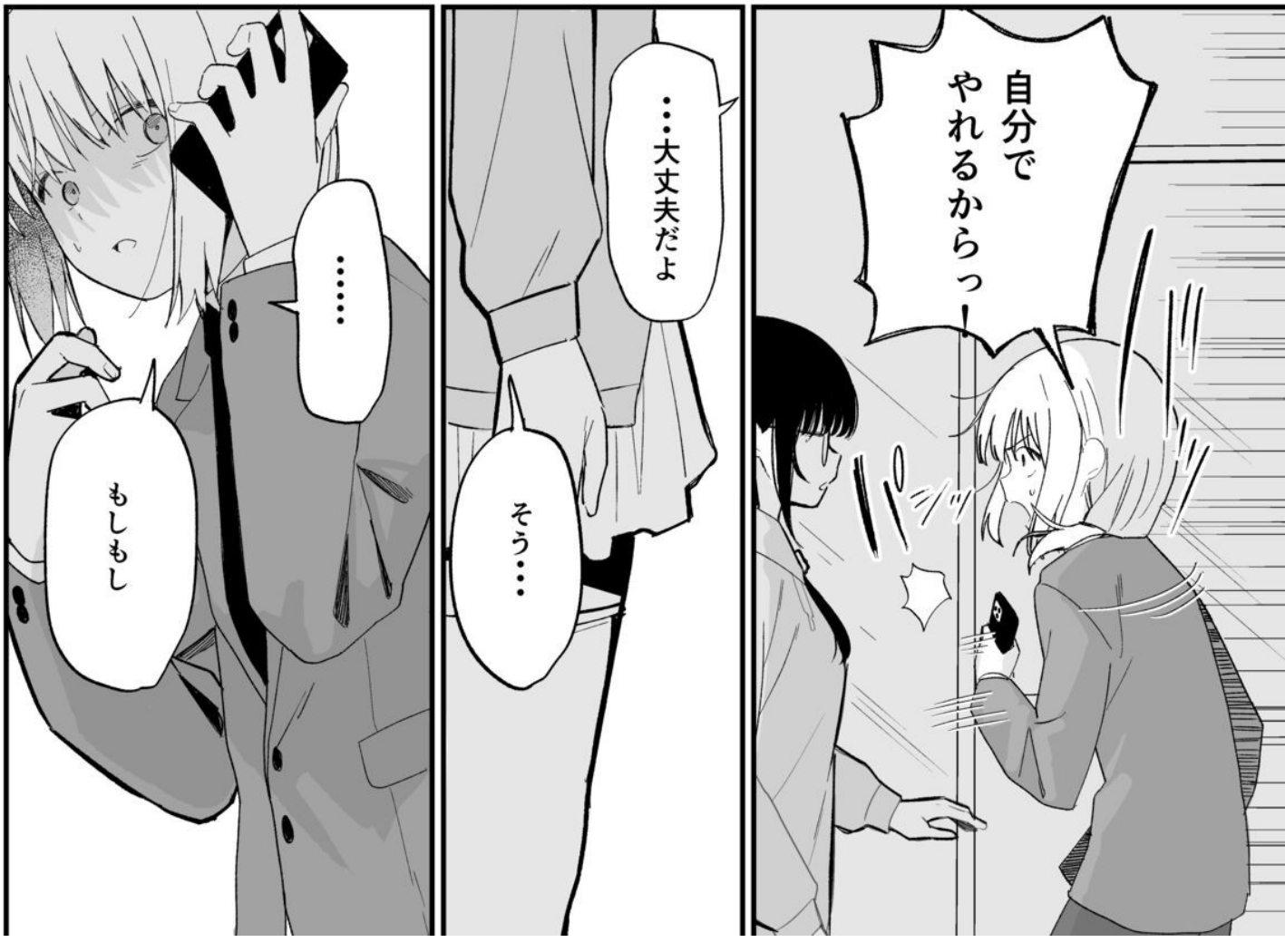

・・・え？
今の声
ママ・・・？

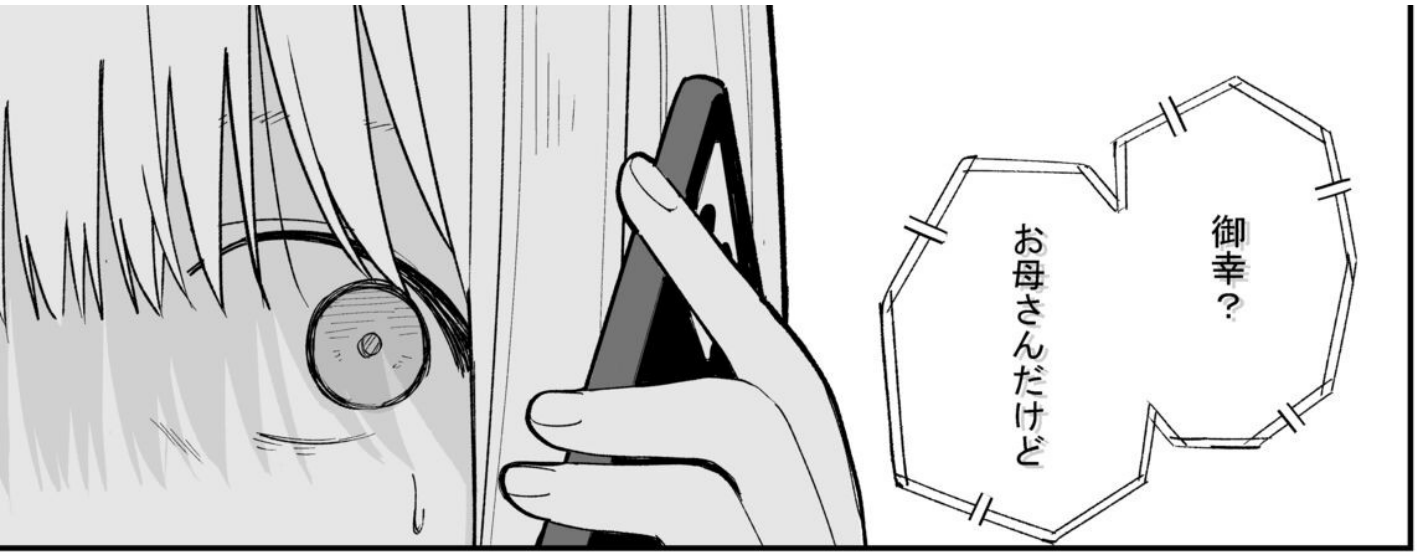

似ている声？
・・・いや違う
いま僕の
名前を呼んだ

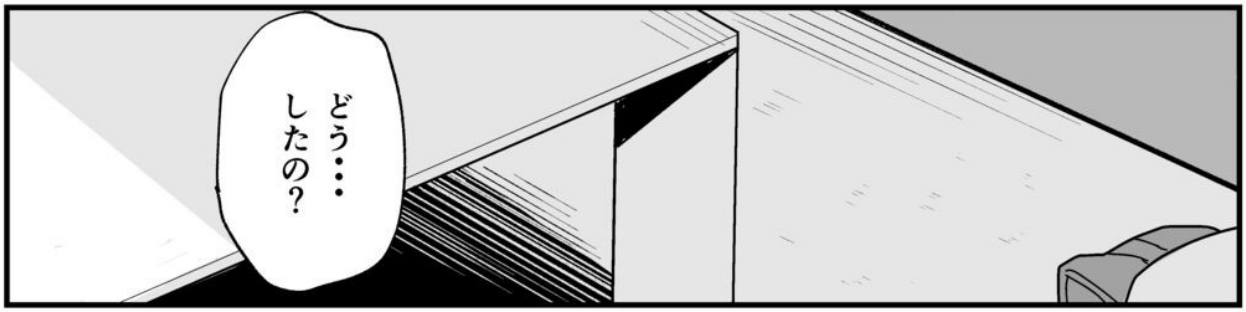

そもそもどうして
ママの声が
学校から一人で
この家に来て
誰も知らない
はずなのに・・・

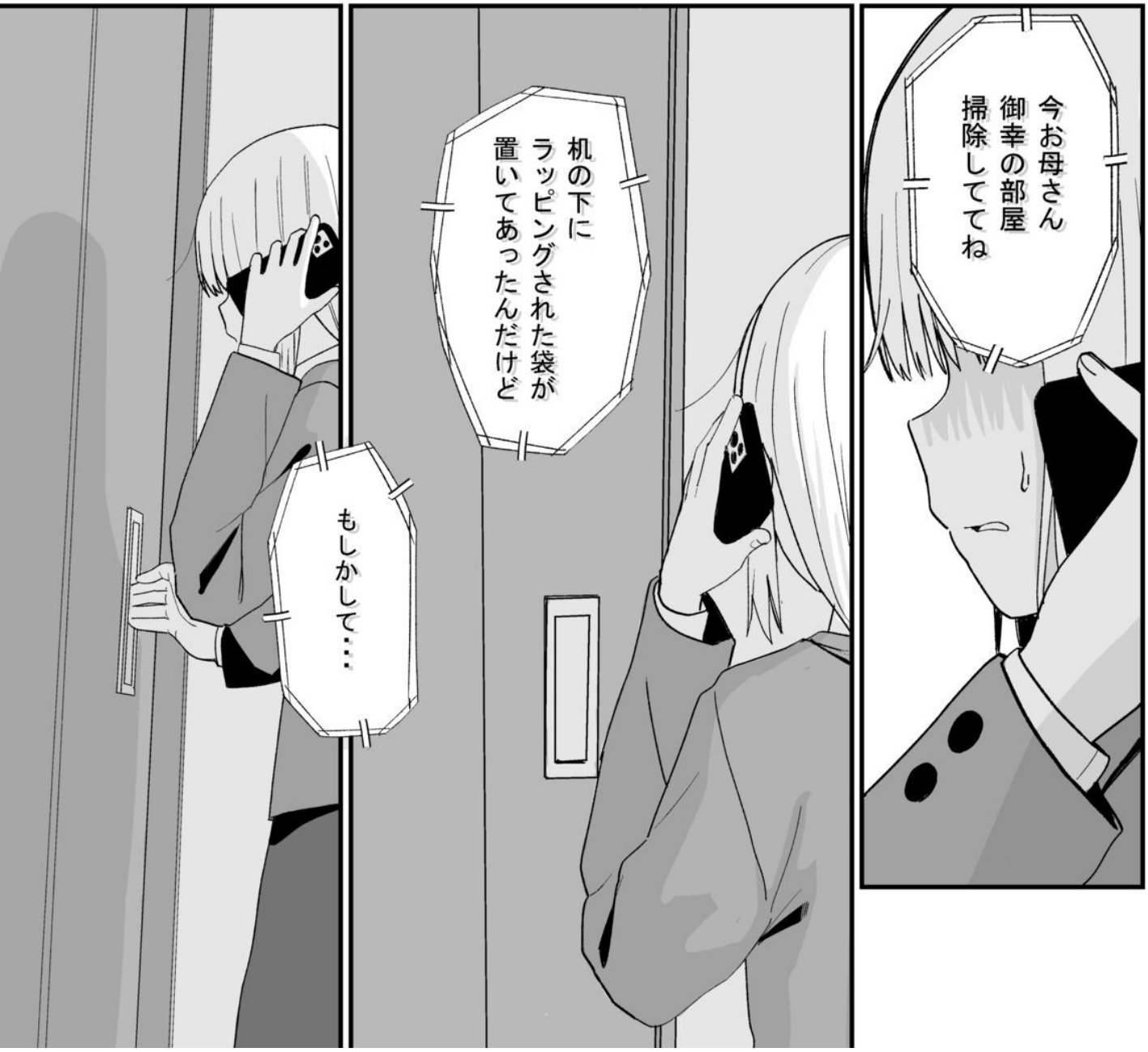

今この
扉の奥から・・・


電話
鳴ってるね
プルルル
プルルル
プルルル
プルルル
プルルル
プルルル
ヒック
……
……


自分で
やれるからっ！
パシッ
…大丈夫だよ
そう…
……
もしもし

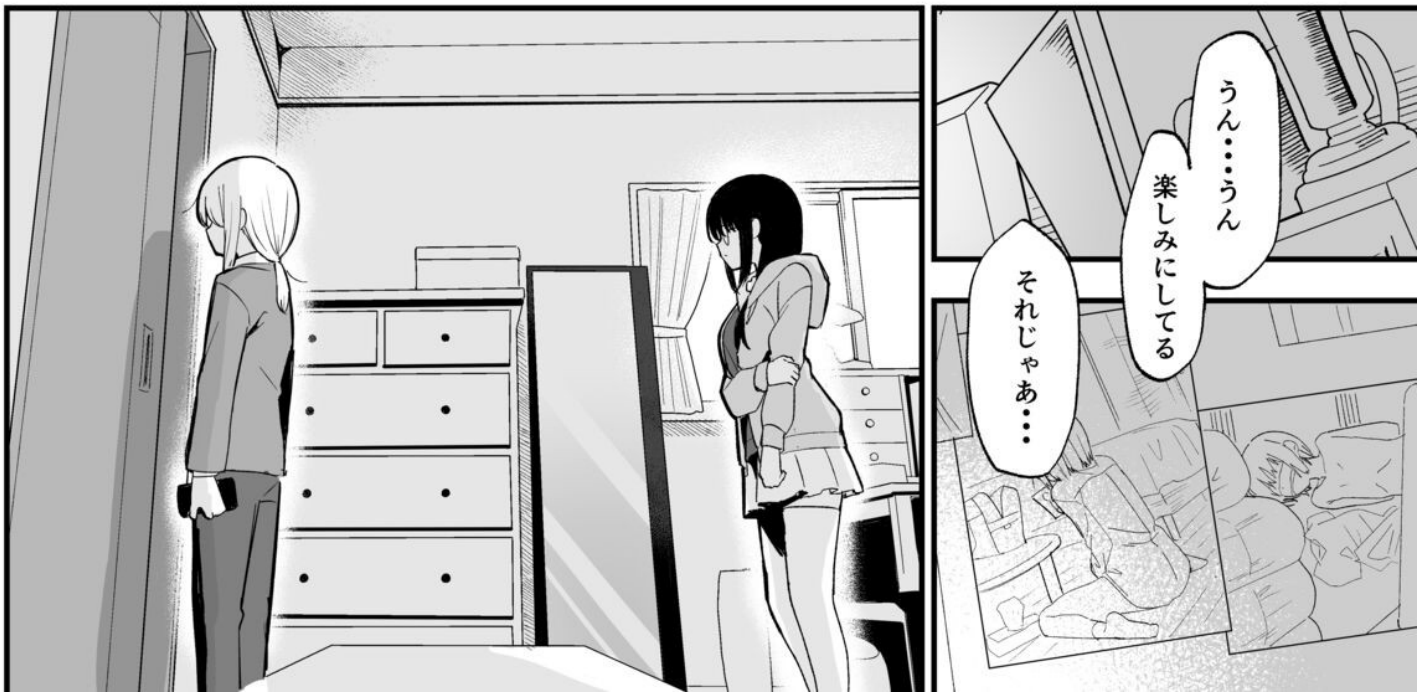

御幸？
お母さんだけど

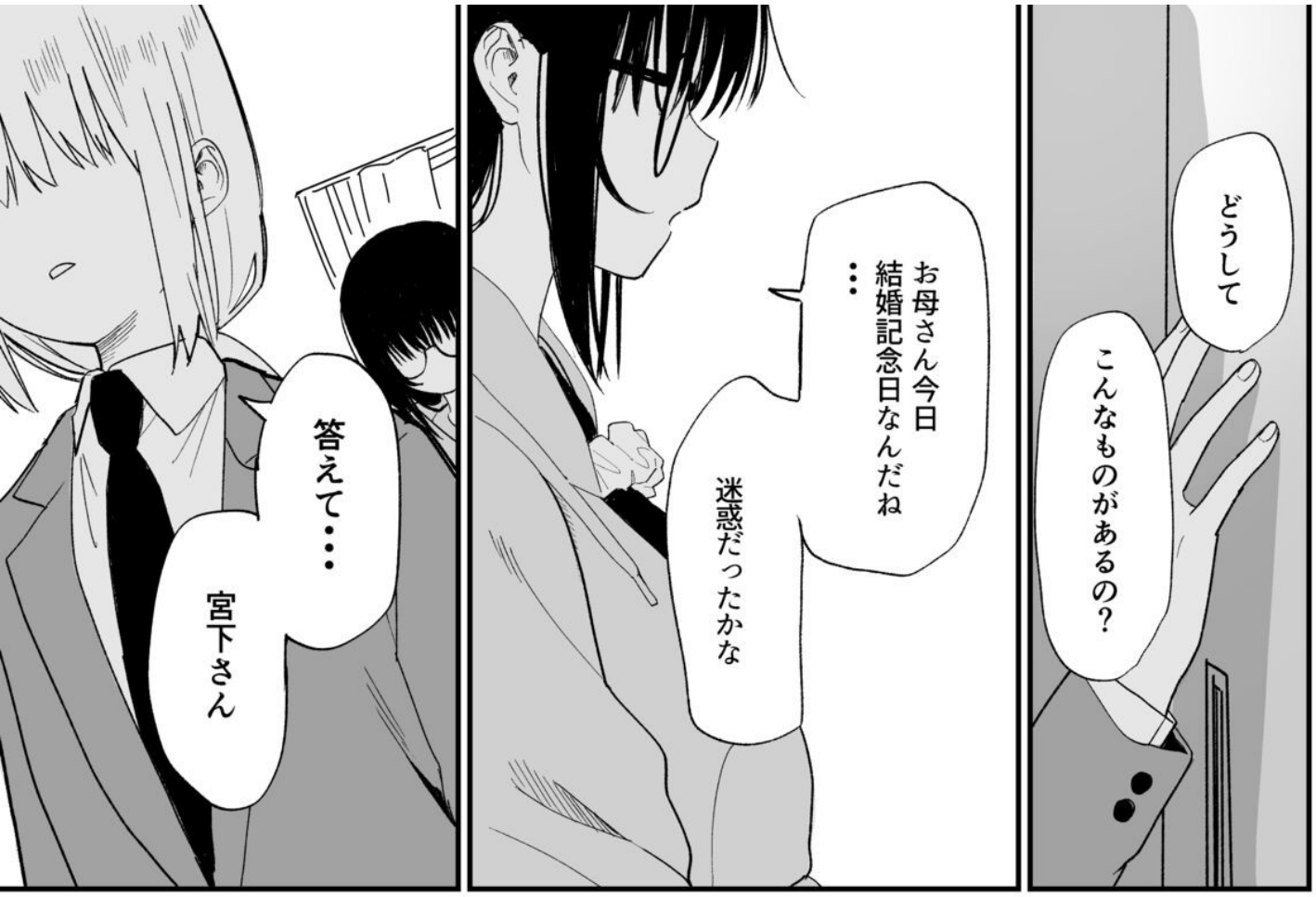

どう・・
したの？


今お母さん
御幸の部屋
掃除しててね
机の下に
ラッピングされた袋が
置いてあったんだけど
もしかして・・・


お母さん達にプレゼント…
ガラッ
…って
あら「宮下さんへ」
って書いてあったわ


やだわ
お母さん
てっきり…
…
別にちゃんと
用意して
あるから
結婚記念日
おめでとう
ママ
あら
ありがとう


うん…うん
楽しみにしてる
それじゃあ…


どうして
こんなものがあるの？
お母さん今日
結婚記念日なんだね
…
迷惑だったかな
答えて…
宮下さん


実は
生徒指導の村田先生に
脅されて…
御幸君に
告白されたとき
見られてたみたい
そうしないと
付き合ってること
バラすって…
違う…
宮下さんは
嘘をついている…


ごめんなさい
でも信じて
プライバシーに
関わることは全然・・・
・・・もうデートは
3回になるけどさ


え？


ぼく方向音痴で
よく迷子になるけど
いつも宮下さんが
僕を見つけてくれるのは
たまたま？
どうしてかな
心が通じ合ってる
とか・・・なんて

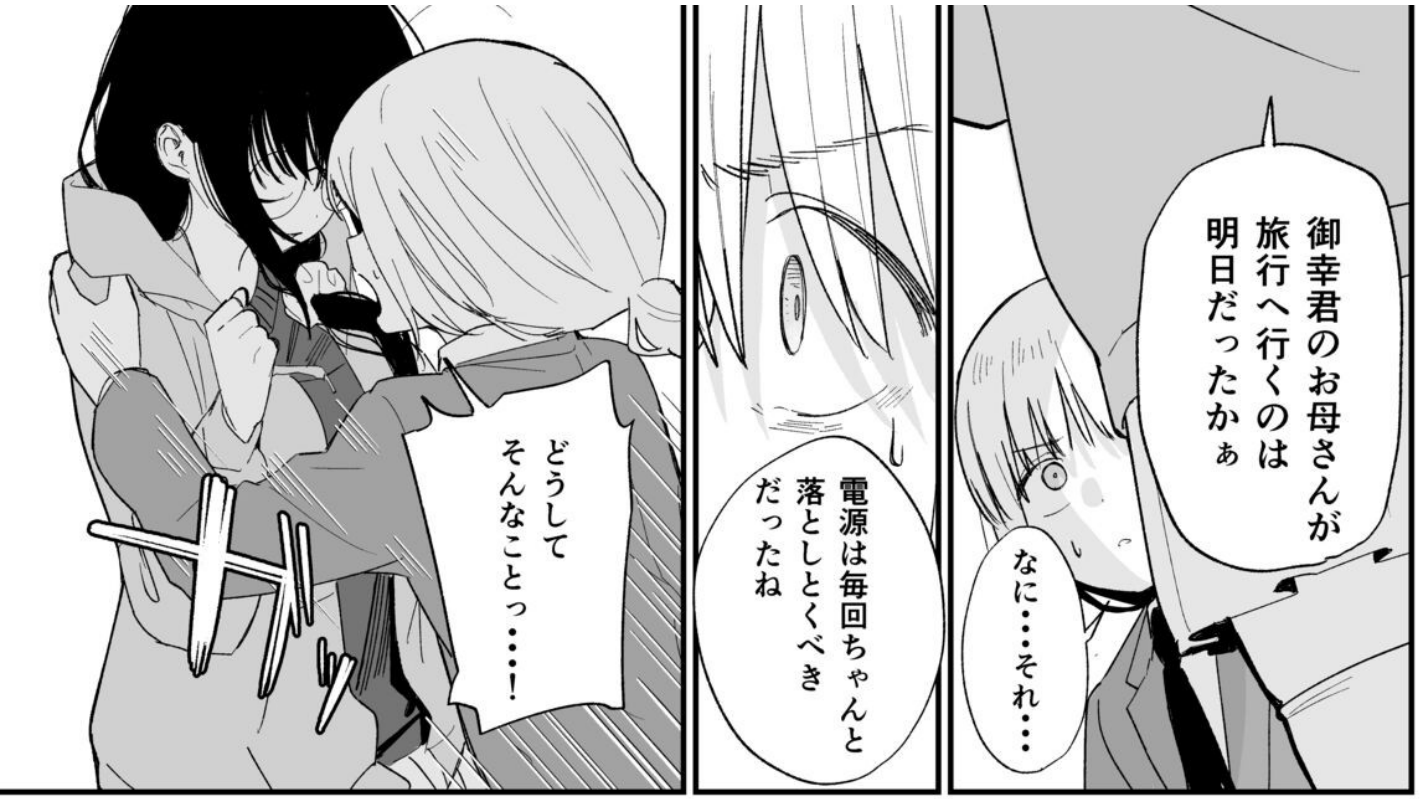

宮下さんに
誕生日教えたこと
あったかな僕・・・
ごめんなさい
・・・日直のとき
職員室でこっそり
名簿見ちゃったの
サプライズに
したくて・・・


宮下さん
良く知ってたね
僕が料理を勉強
してること
誰かのために
料理するのって
すごいと思う
なんとなく
そう思って・・・
ほら
私もお母さんの
ために料理
することあるし
あはは・・・
御幸くん
せっかく
名前で呼んで
くれたのに
もう宮下さんに
戻ってるよ
最後にさ・・・
聞いていいかな？
・・・なに？
僕さ・・・
子供の頃に矯正されて
鉛筆とお箸は右で
持つようになったんだ


ぼく
言ったっけ
それ以外は
まだ左利きのまま
だって
Kitchen Utensils For Left-Handed (左利き用)
KITCHEN SCISSORS
For Left-Hnanded
Kitchen Utensils For Left-Handed (左利き用)




あ～あ


御幸君のお母さんが
旅行へ行くのは
明日だったかぁ
なに…それ…
電源は毎回ちゃんと
落としとくべき
だったね
どうして
そんなことっ…！

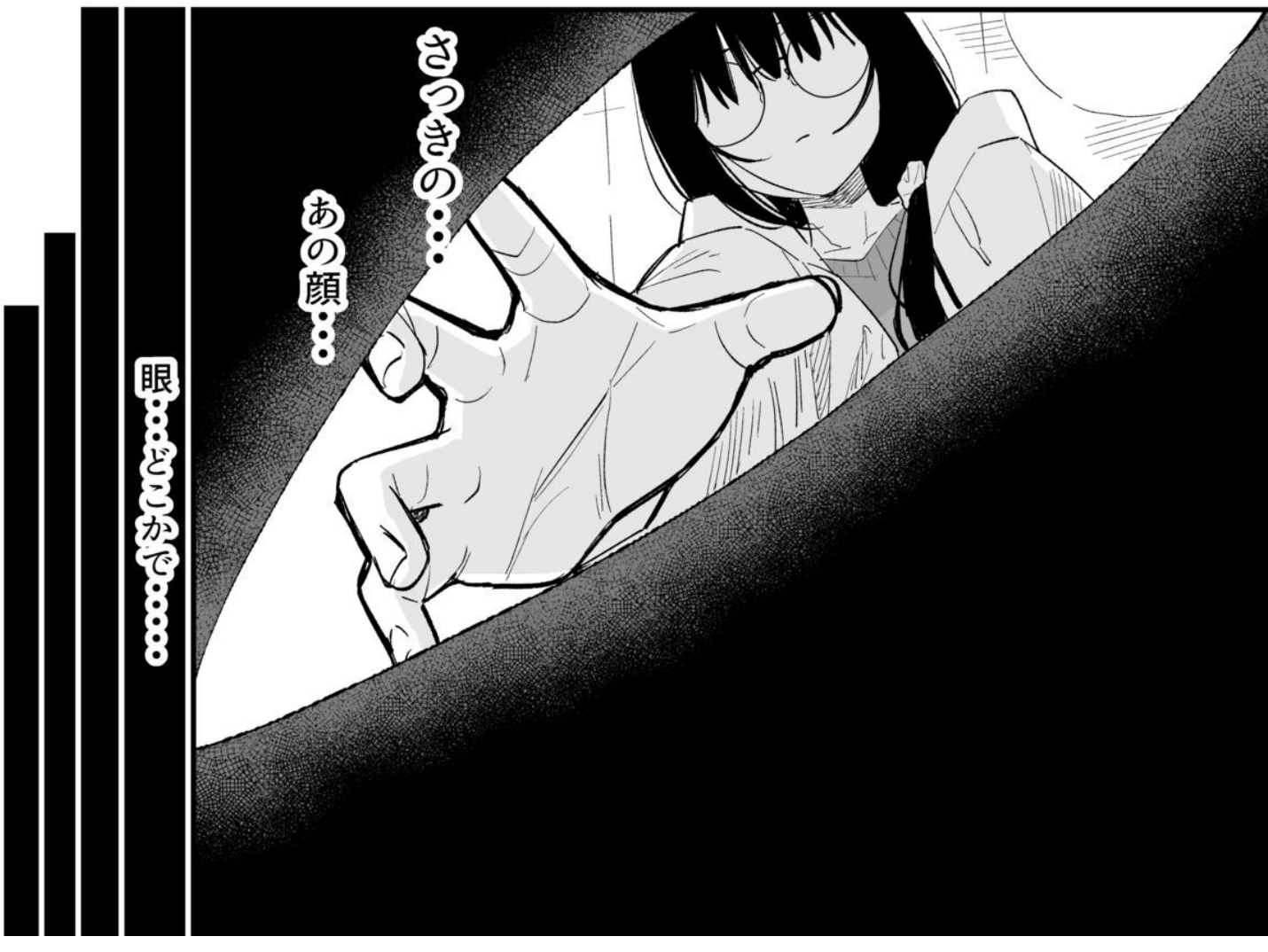

3年と2か月
え？
ねぇ
何の期間だと思う？


私が御幸君を
好きだった期間だよ


急にどうして
そんなこと・・・
パチッ




なん…
で…


さっきの…
あの顔…
眼…どこかで……


××××年
○月×日
天気　晴れ
女子更衣室
斎藤先輩
お先です
お疲れっす
お疲れ様～

残暑が残る
2年の秋、

私は部活を終えて
帰る途中だった。

あれ？

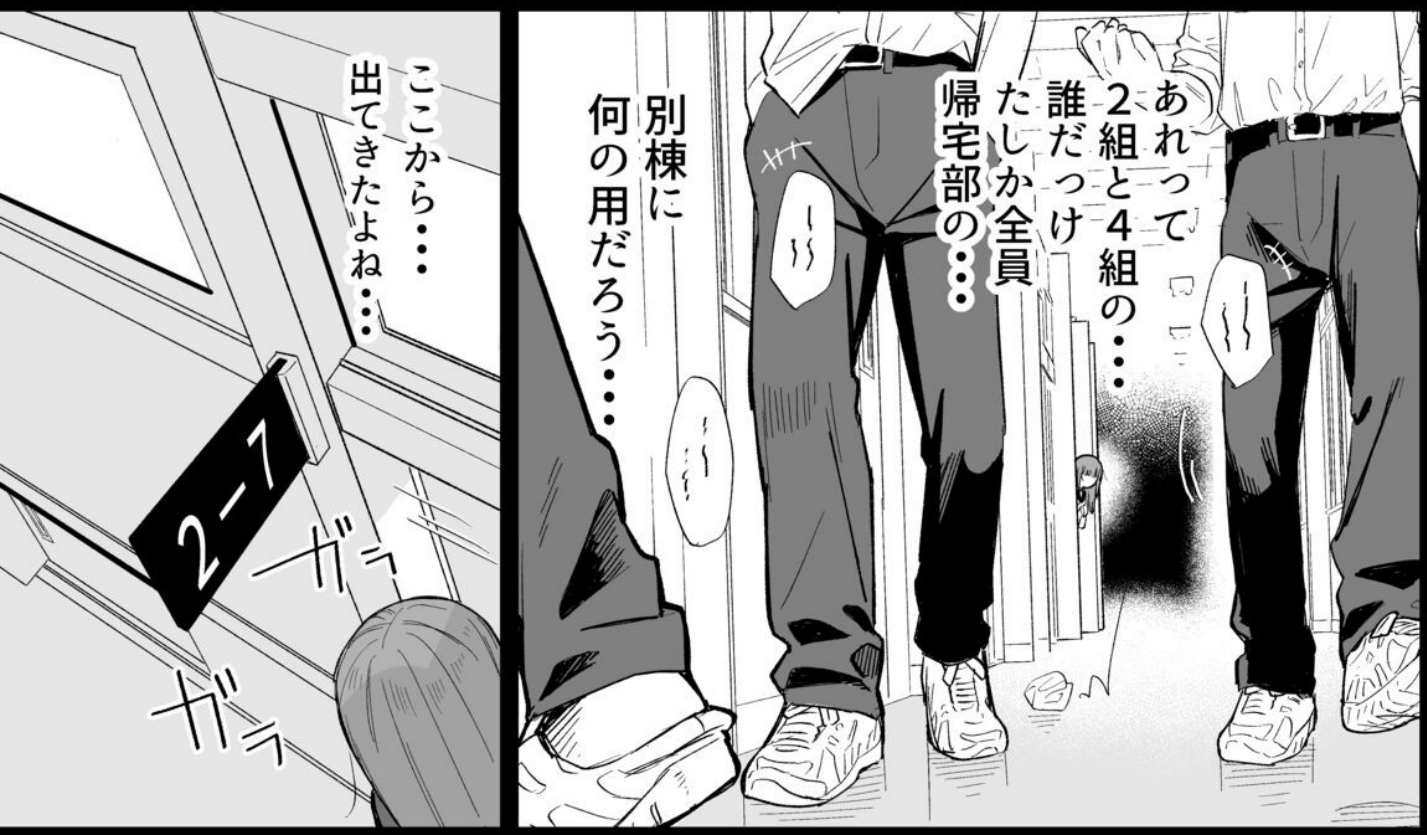
体操服

教室に
忘れたかな・・・

2-5

ガラガラ


？


あれって
2組と4組の…
誰だっけ
たしか全員
帰宅部の…
別棟に
何の用だろう…
2−7
ガラ
ガラ
ここから…
出てきたよね…

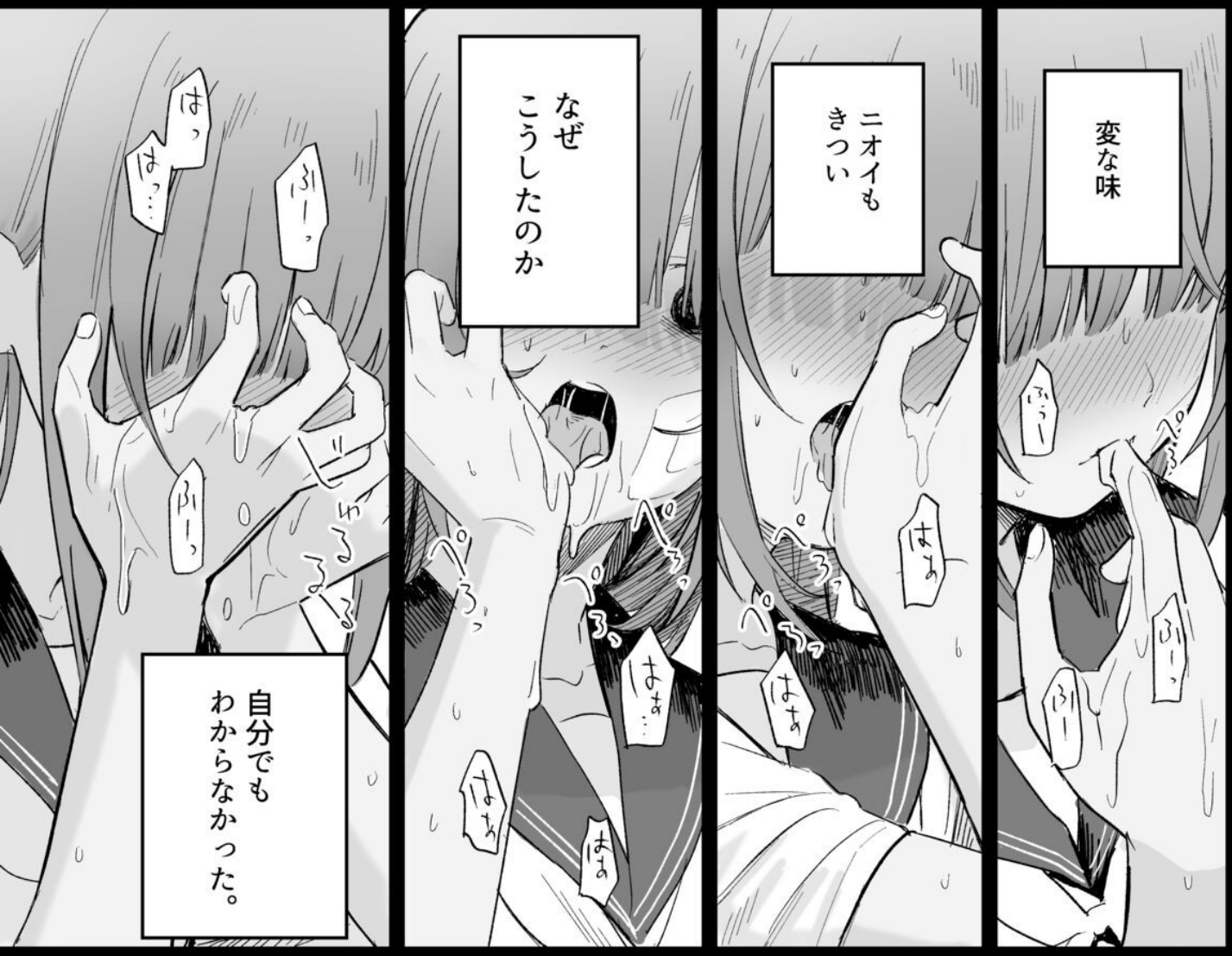

失礼します…
ガラ…

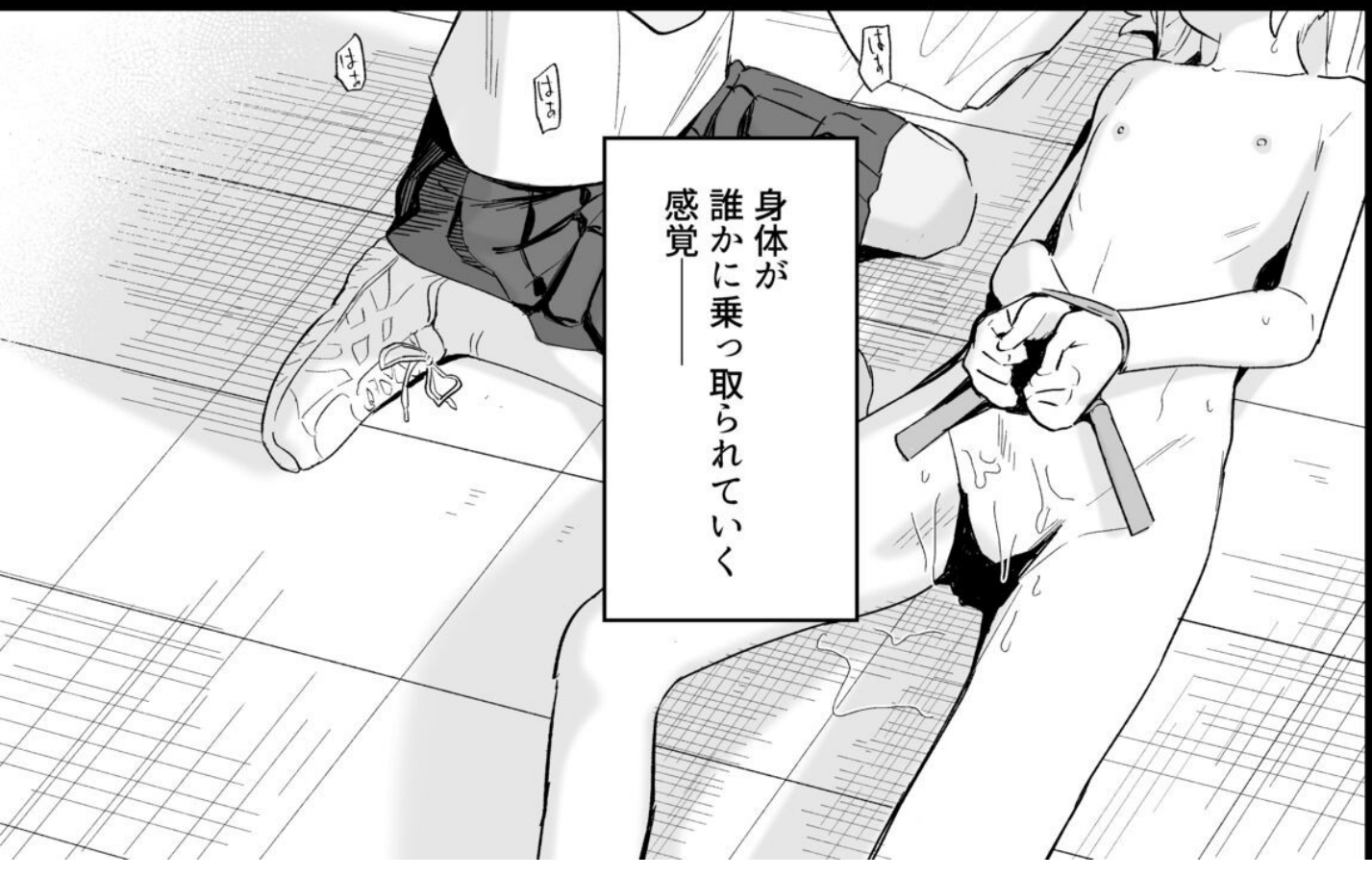





大丈夫!?
今すぐ先生を…!
確か7組の三嶋君…
え?
…い
…う
びくっ
…さい
ぁ…
ごめ…なざい
ごめんなさい…
…い…
びくん
びくっ
ごめんなさい


絡みつくように
粘度のある液体、
初めて嗅ぐ
ニオイ、
温度。
それに触れた時
私のなかに味わったことのない
感情がこみ上げてきて、
同時に体が
熱を帯びていくのが
分かった。
はぁ…
はぁ…
はぁ
はぁ
はぁ


変な味
ニオイもきつい
なぜこうしたのか
自分でもわからなかった。


身体が誰かに乗っ取られていく感覚――


三嶋君が
何があったかは
すぐに察しがついた
けれどそんなことは
もはや思考の外で
私は――
くちゅ
くちゅ
くちゅ
んっ…
っ…！
んっ
すぅー
はなすぅ
すぅー
はなすぅ
すぅー
はなすぅ
すぅー
はなすぅ
すぅー


初めての
自慰行為に
没頭していた。
すー
んー
はぁー
すー
はー
すー
くちゅ
くちゅ
すー
はぁー
ん
くちゅ
くちゅ
ん
ん
くちゅ
くちゅ


それから
日が落ちるまでの間、
私は三嶋君を視ながら
何度もオナニーを
繰り返した。

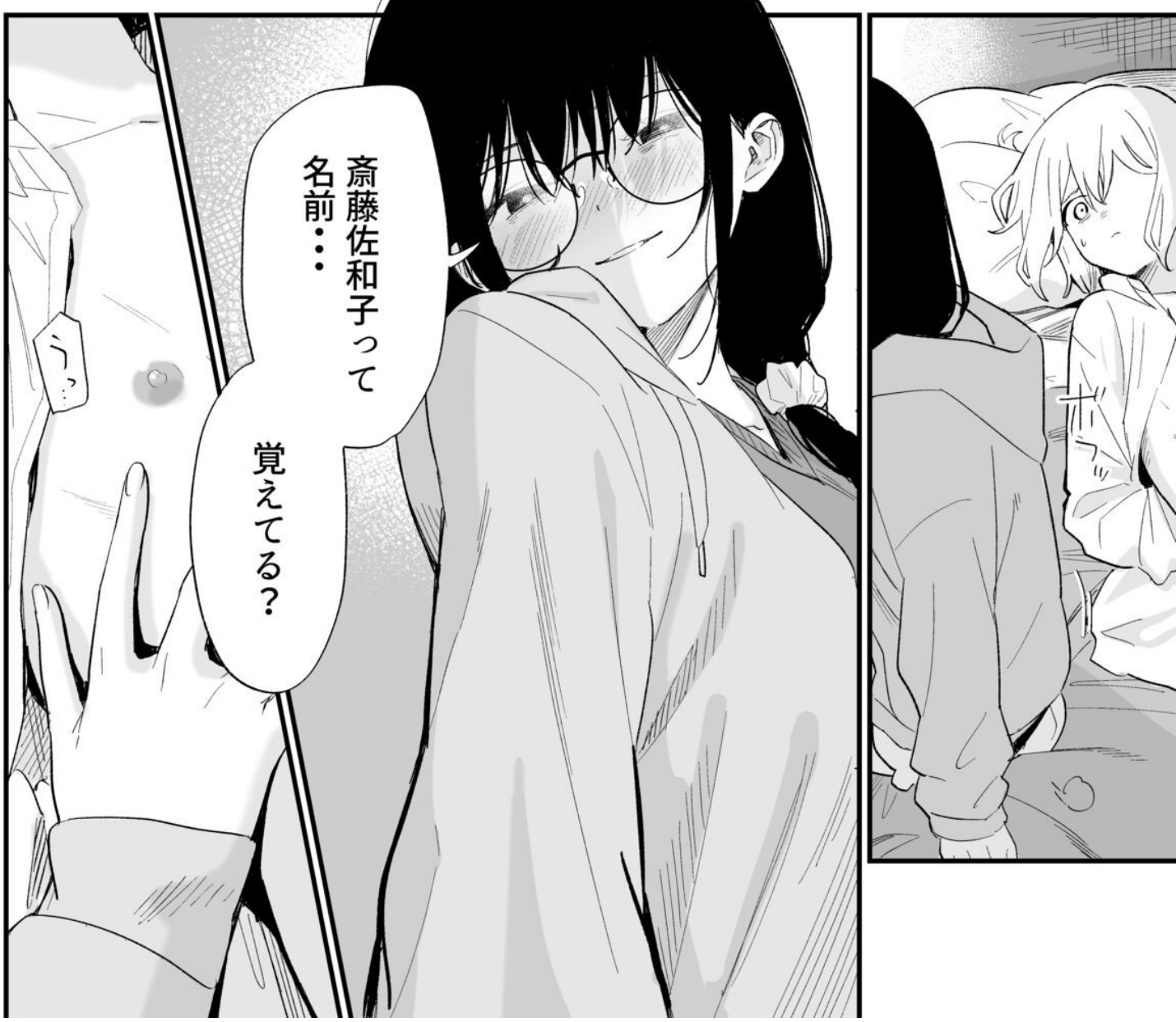

なぁ
なぁなぁ
なぁ…
なぁ
なぁ…
なぁ…

そうだ…

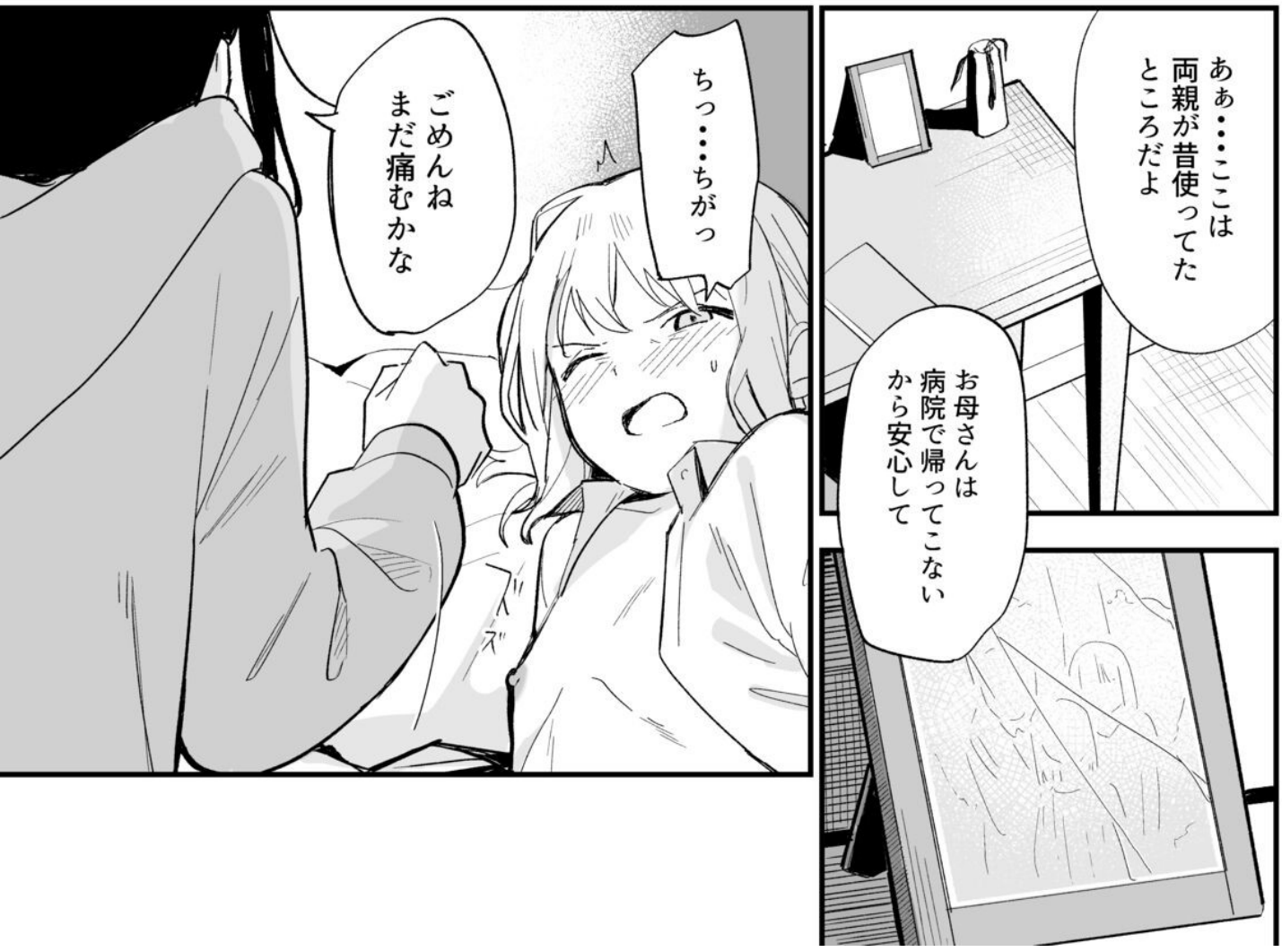
あの時の眼……



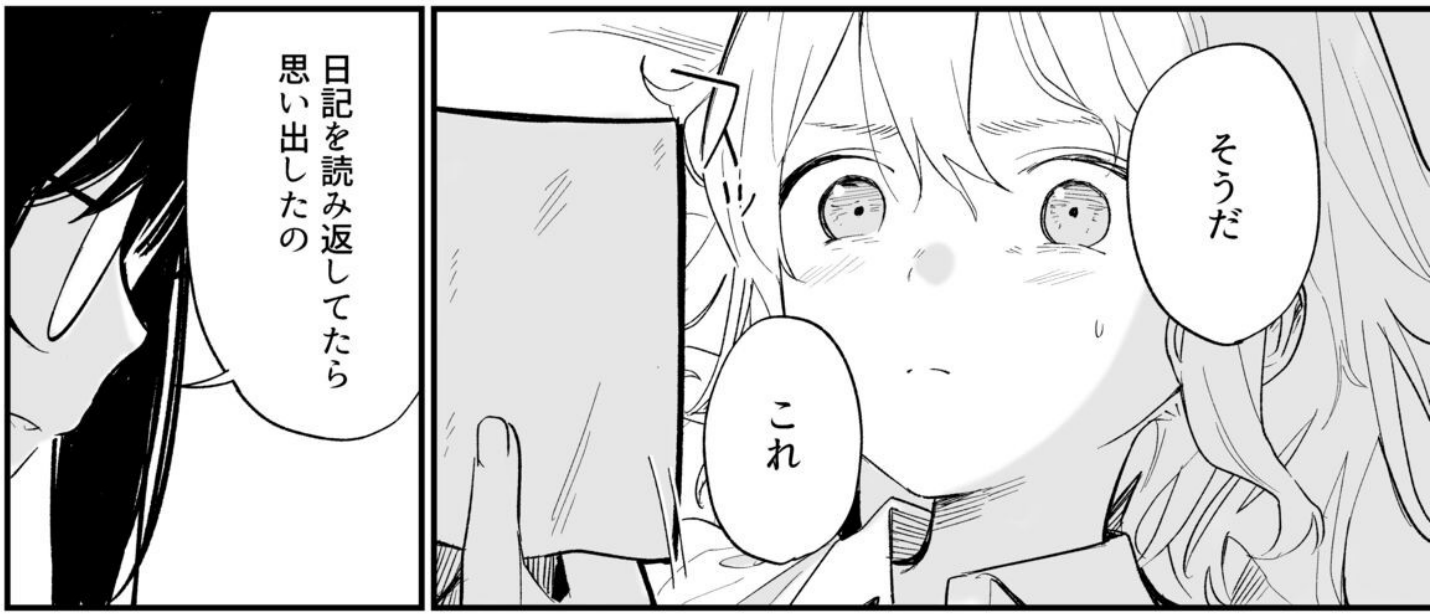

御幸君のことは
何でも知りたかった
登校ルート
住んでいる家
家族構成
御幸君の好み
全部
パタン


斎藤佐和子って
名前・・・
覚えてる？
うっ…
ゴッ

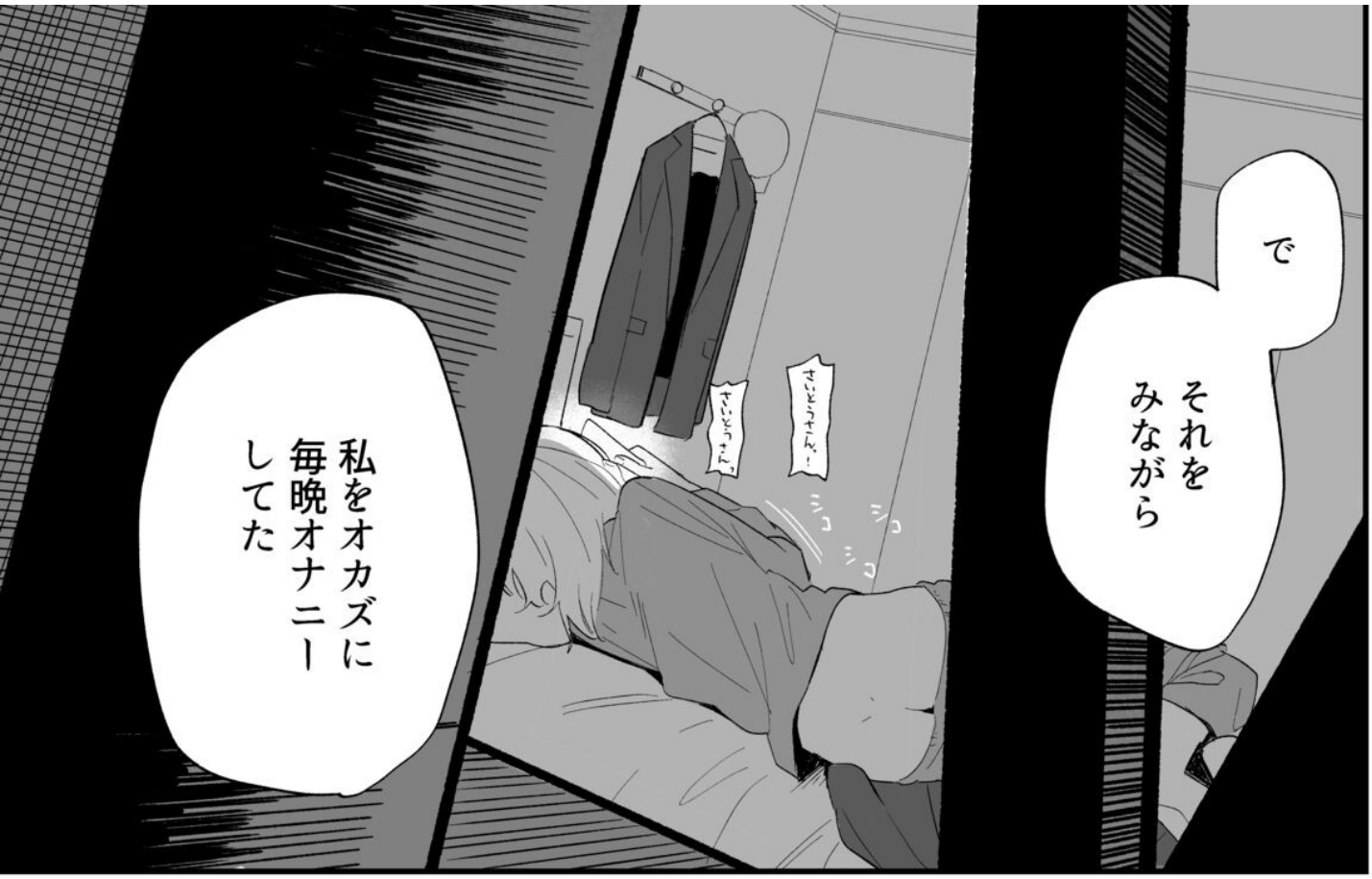

覚えてない？
どっ・・・
ぐっ
どう・・・して
ぐっ

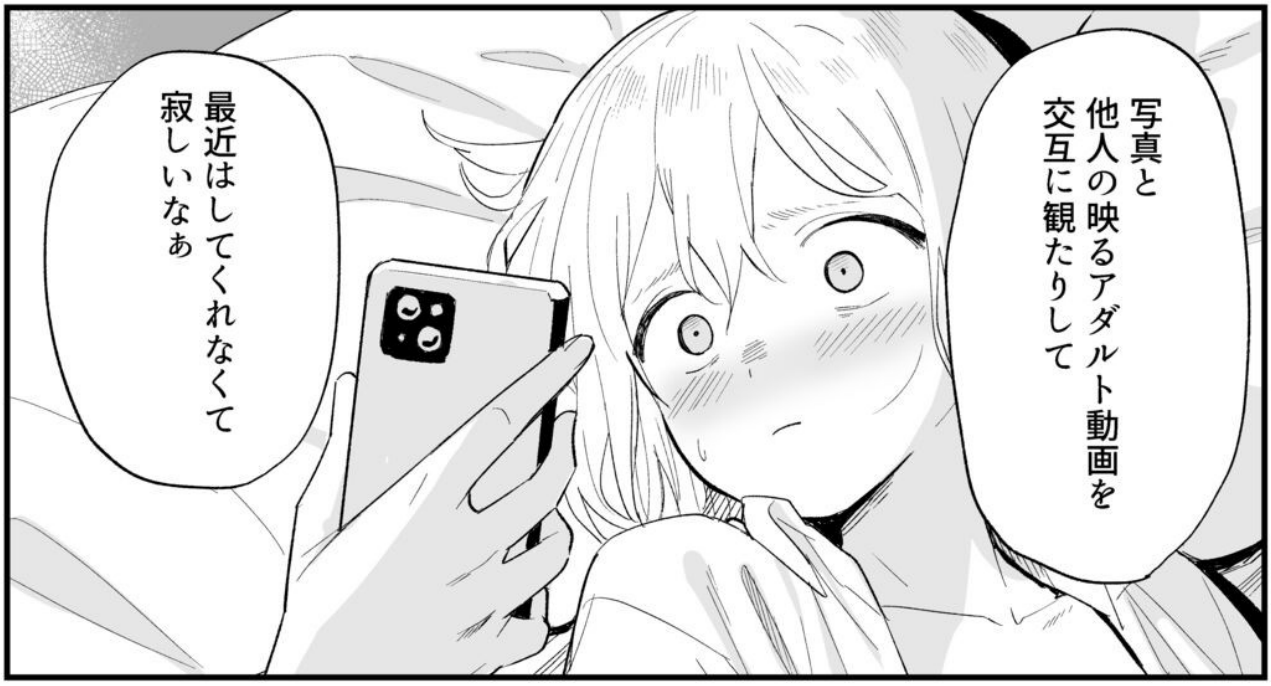

あぁ・・・ここは
両親が昔使ってた
ところだよ
お母さんは
病院で帰ってこない
から安心して
ちっ・・・ちがっ
ごめんね
まだ痛むかな

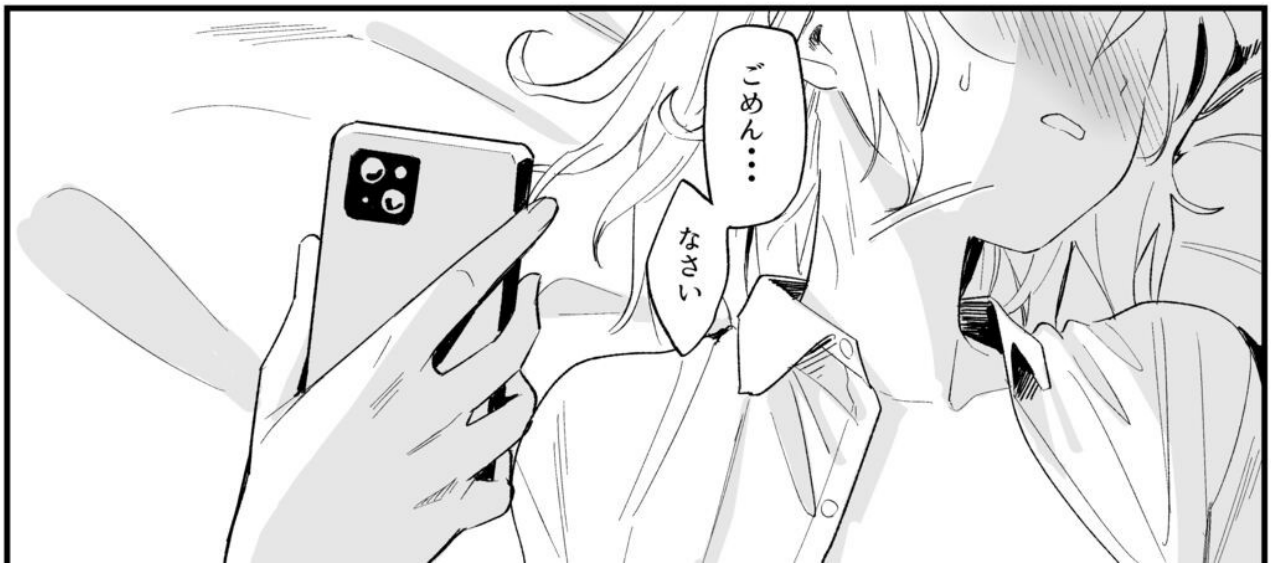

僕は
美羽子ちゃんのことを
以前から知ってるの？
斎藤佐和子…
苗字も名前も違う
さっきは
びっくり
しちゃって
ちょっと
強くしすぎた
かな？
・・・だめだ
色々なことが
ありすぎて
理解が追い付かない


そうだ
これ
日記を読み返してたら
思い出したの


体育祭の時の写真
財布の中に
いつも持ち歩いてたよね


で
それを
みながら
さいとうさん…
さいとうさん…
シコ シコ
私をオカズに
毎晩オナニー
してた

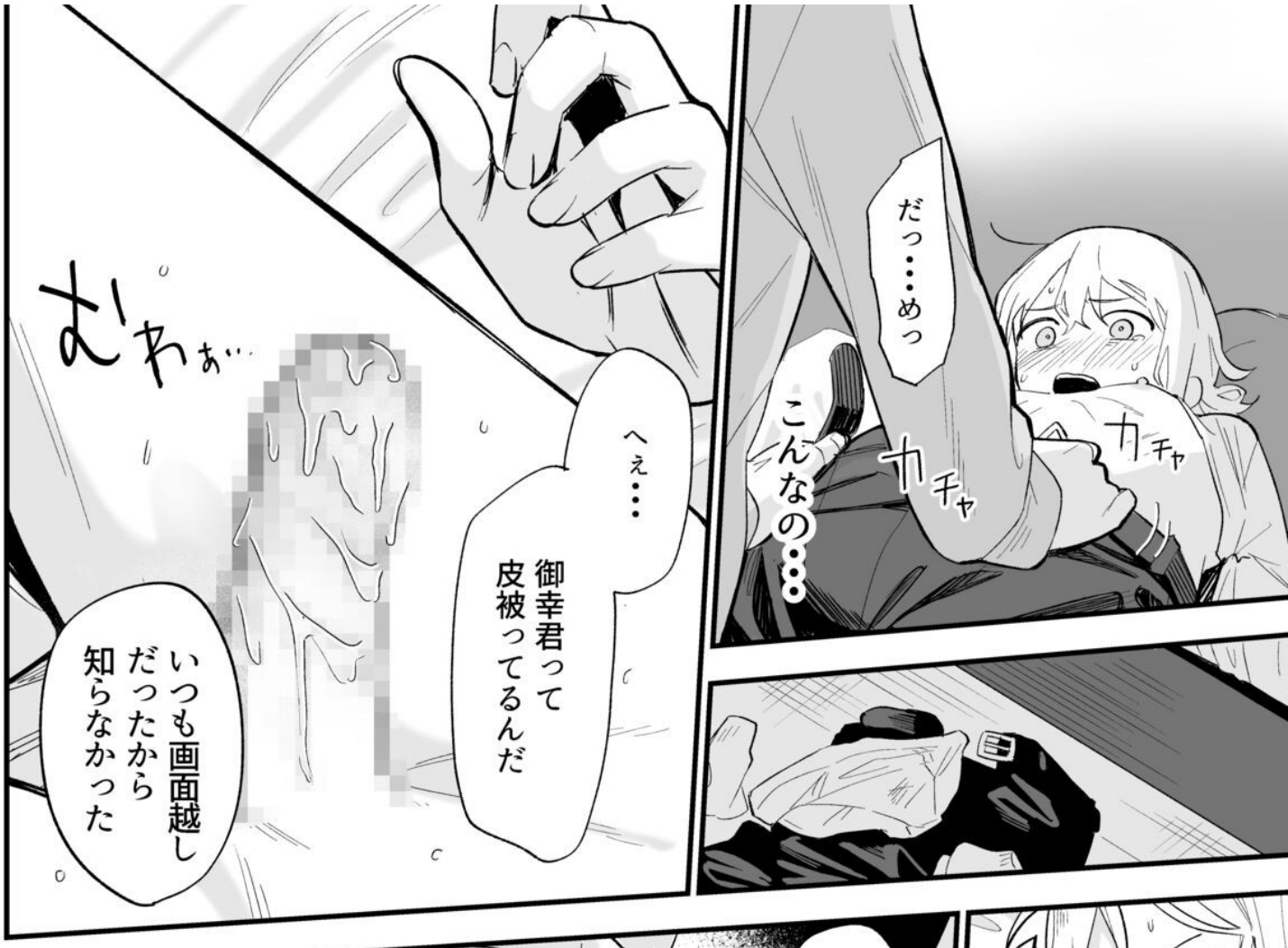

写真と
他人の映るアダルト動画を
交互に観たりして
最近はしてくれなくて
寂しいなぁ


ごめん…
なさい


どうして？
謝る必要ないよ
だって
それってつまり・・・
私達・・・
両想い
ってことでしょ？


ねぇ
御幸くん・・・


だから・・・
フッ
もう・・・
じわぁ・・
良いよね？


だっ…めっ
こんなの…
カチャ
カチャ
へぇ…
御幸君って
皮被ってるんだ
いつも画面越し
だったから
知らなかった
むわぁ…
こんなの……
うぅ…
私を思いながら
ずーっと
こうやって
我慢汁垂らしてた


こんなの
美羽子ちゃん
じゃない
はぁ
はぁ
はぁ
だって
僕の知ってる
美羽子ちゃんは——


優しくて…
知的で…
真面目で…
笑顔が可愛い
斎藤…佐和子…


宮下美羽子…
…って
誰だっけ…？


あ……
…れ…？


ふーっ
ふーっ
あむっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はっ
はっ
はっ
むりぃ…
ビクッ
うっ
ビクッ
うっ…
ニュポッ
ニュポッ
ニュポッ
んぐっ!!
びくっ


ふぃーっ
ふぃっ
しゅるるるっ
ふぃっ
しゅるる
ちゅぽっ
はぁ…
はぁー…
たゅんっ


カチッ
フッ
御幸君好きだよね？
こういうの


だめっ…
それ以上は…っ！
たぷんっ
たぽっ
たぷんっ
くちゅ
とろ～
くちゅ
ぺちゃっ
びゅるっ
びゅっ
ヌルッ


れろ
れろ
びくっ
びくん
ひゃ
ひゃる
カチャ
はぁ
はぁ
はぁ
コト…
?
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ゴソゴソ


むわぁ…
!!
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ムクッ


クチュ
クチュッ
あむっ
のーはっ
はっはっ
はっはっ
はっはっ
ビクッ
ビクッ


御幸…
くん…


ダメだよっ！

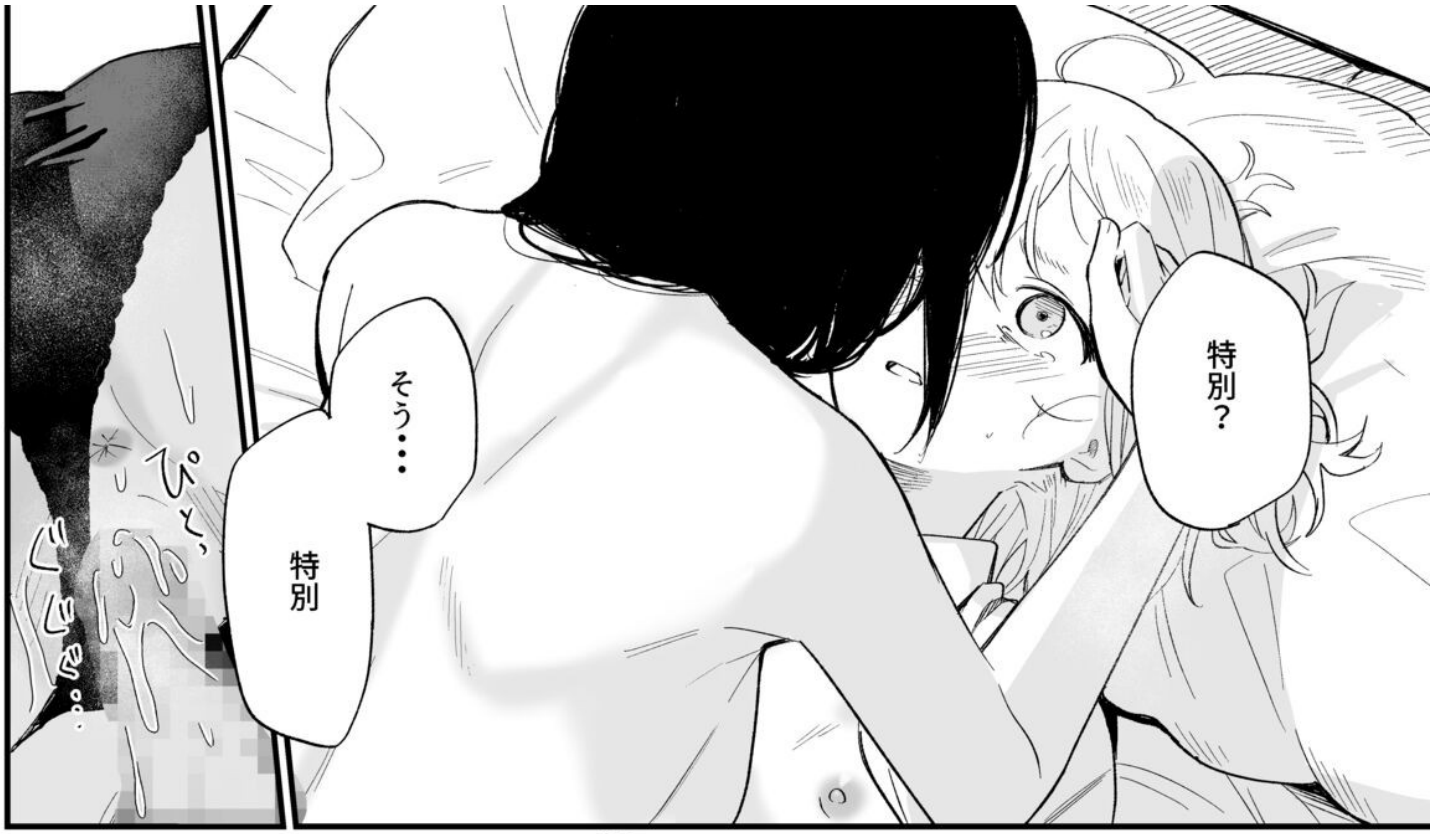

・・・どうして？
私のこと・・・
嫌い？
すっ・・・
好きだよ
でもだからこそ
普通に・・・


普通？
普通ってなに？
それは・・・
普通に
お付き合いして
大人になったら
普通に・・・

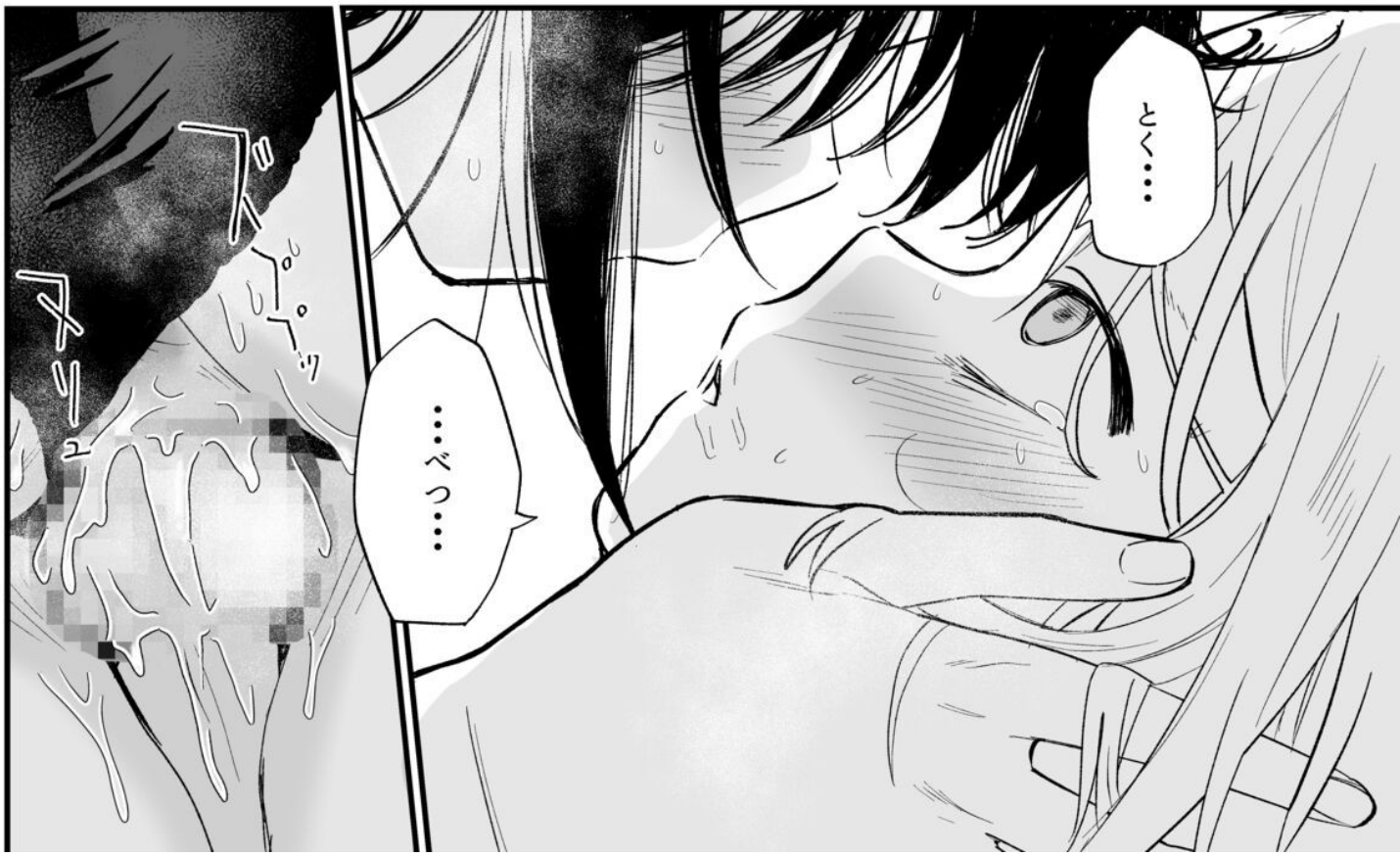

御幸君は
普通じゃないでしょ？
え・・・？


変わり映えのない
毎日を送っている
周りの奴ら
とは違う
御幸君に
酷いことを
してきた
奴らとは違う
そんな普通と
一緒にしちゃ
ダメ


だって御幸君は
特別だから


特別？
そう…
特別
ぴと、
ぐぐぐ…


だから
教えて
私の知らない
御幸君の
特別だった
日々のこと
その時の
気持ち
知りたいの
だめ？
ぬぬ…
ずぷ…


とく…
…べっ…
ズプッ
メリュ


びゅ〜
びゅっ
あぁ…


びゃるるるる
うわっ
また射精(で)た！
こいつ
底なしじゃん
ハーイ
いま保健体育の
授業中なのでお静かに～
やめ…
て…
はぁ…
はぁ…

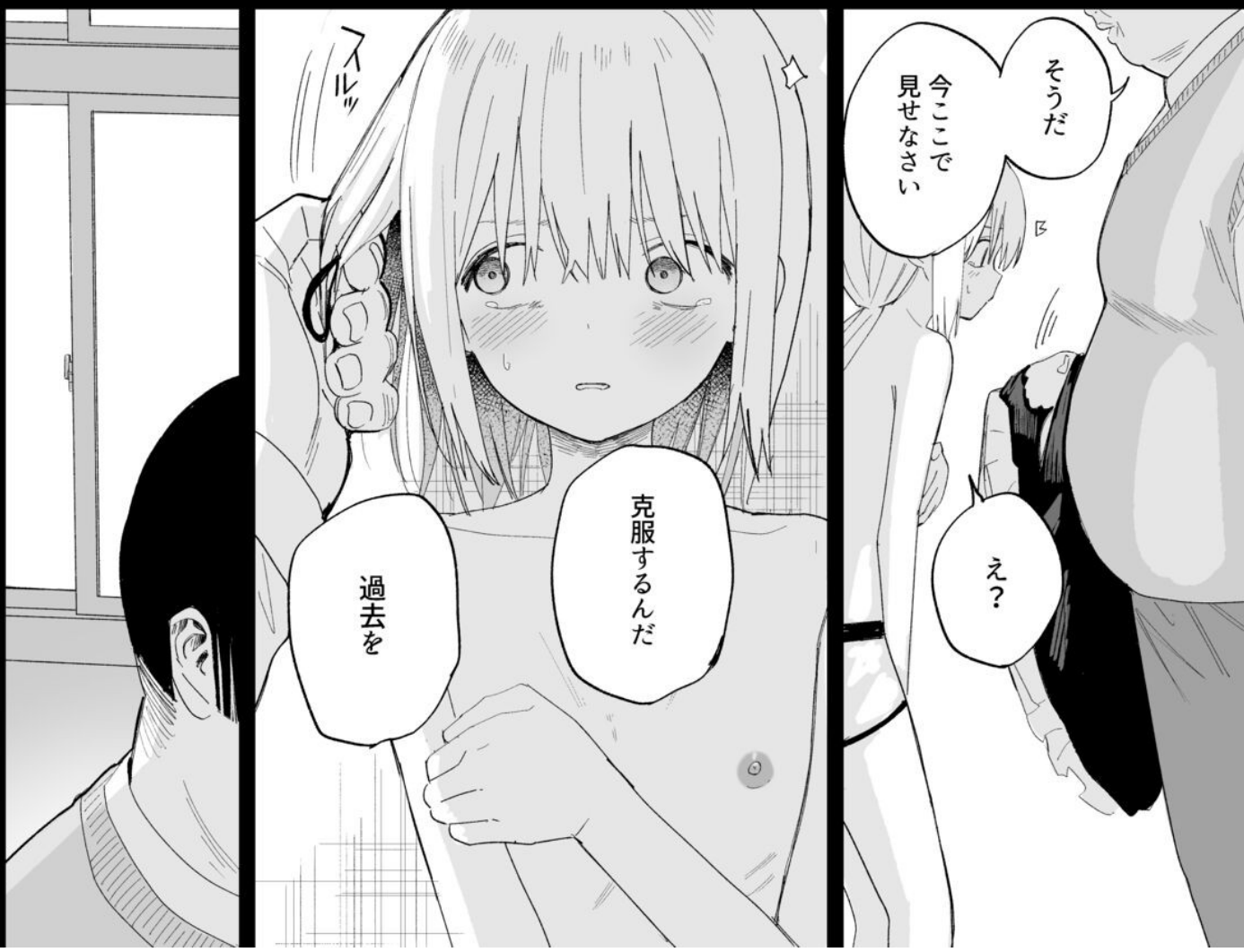

何やってんの？
先輩が言ってたんだけど
射精した後こうやって擦るとさ
男も潮吹くんだって
まじ？
ほらこうやって
ほらほら
ほら
声出すなっってんだろ！


うわっ
ちょっ
制服にかかったんですけど
ケラケラ
本当に潮吹いてんじゃん
ケラケラ
キモすぎ
男のくせに
あ…
い
…っ


「男のくせに」――
周りから
そう言われ続けて
何度飛び降りる
決意をしただろうか
けれどその度に
彼女の笑顔が
僕を引き戻してくれた
それだけが唯一の
支えだった


辛かったよね
進学してすぐ
生徒指導の村田に
目を付けられた
ニタァ…
だったら
女になればいい
でも
もう大丈夫
にちゃぁ…
先生の
言う通りに
すれば
全て
上手くいく
とりあえず
髪を伸ばして
みようか
あと先生の
持っている女性の…
ハ〜ハ〜…
グッ…
僕は男じゃ
だめなの……？


ドンッ
なんで履いてきてないんだっ！
いつも言っているだろう！
ごめんなさい！
でも・・・

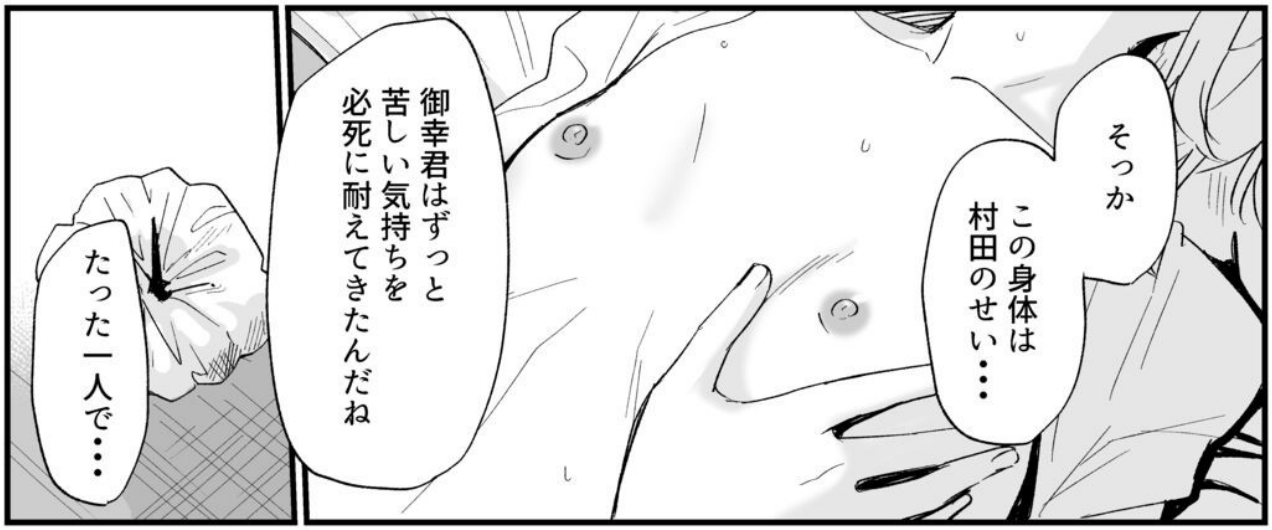

そうだ今ここで見せなさい
え？
イルッ
克服するんだ過去を

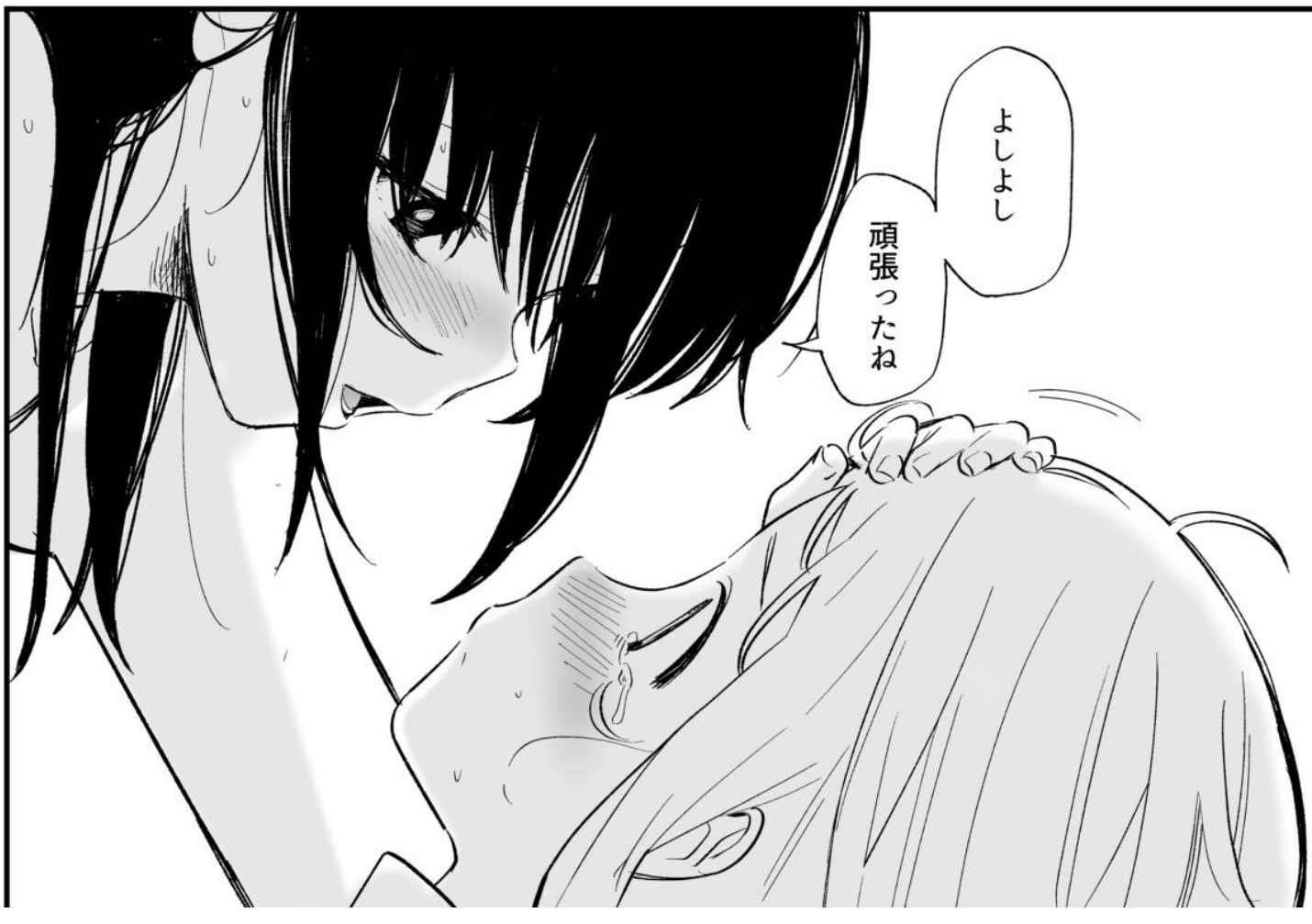

こ…
こうですか？
ぴら、
良い子だ
あとでご褒美に
御幸専用の
お薬をあげるからね
射精(だ)すぞっ！
御幸っ！


ちゃんと
全部飲みなさい
ほら最後まで
ガシッ
ビュッ
ビュル
はぁ
それじゃあ
ビンッ
女の子としての
貫通式だ
これで
身も心も女の子に
なれるからね

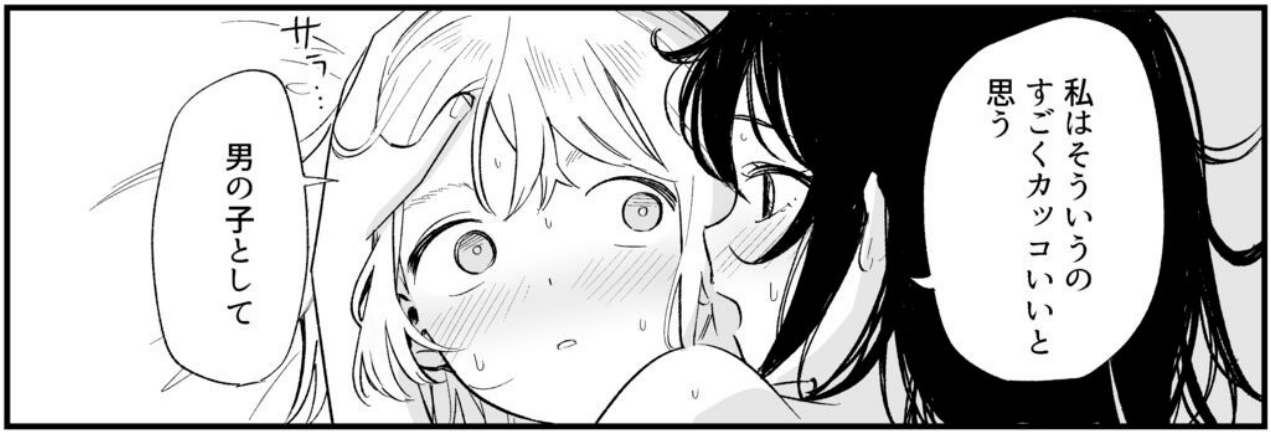

ピーンポーン
パーンポーン
村田先生
至急、校門まで
お願いします
繰り返します
村田先生
至急――
ちっ
良いところ
だったのに
――僕は
男じゃダメなの？




そっか
この身体は
村田のせい…
御幸君はずっと
苦しい気持ちを
必死に耐えてきたんだね
たった一人で…


よしよし
頑張ったね


えらい
えらい
ありがとう
私の知らない
御幸君の気持ち
教えてくれて

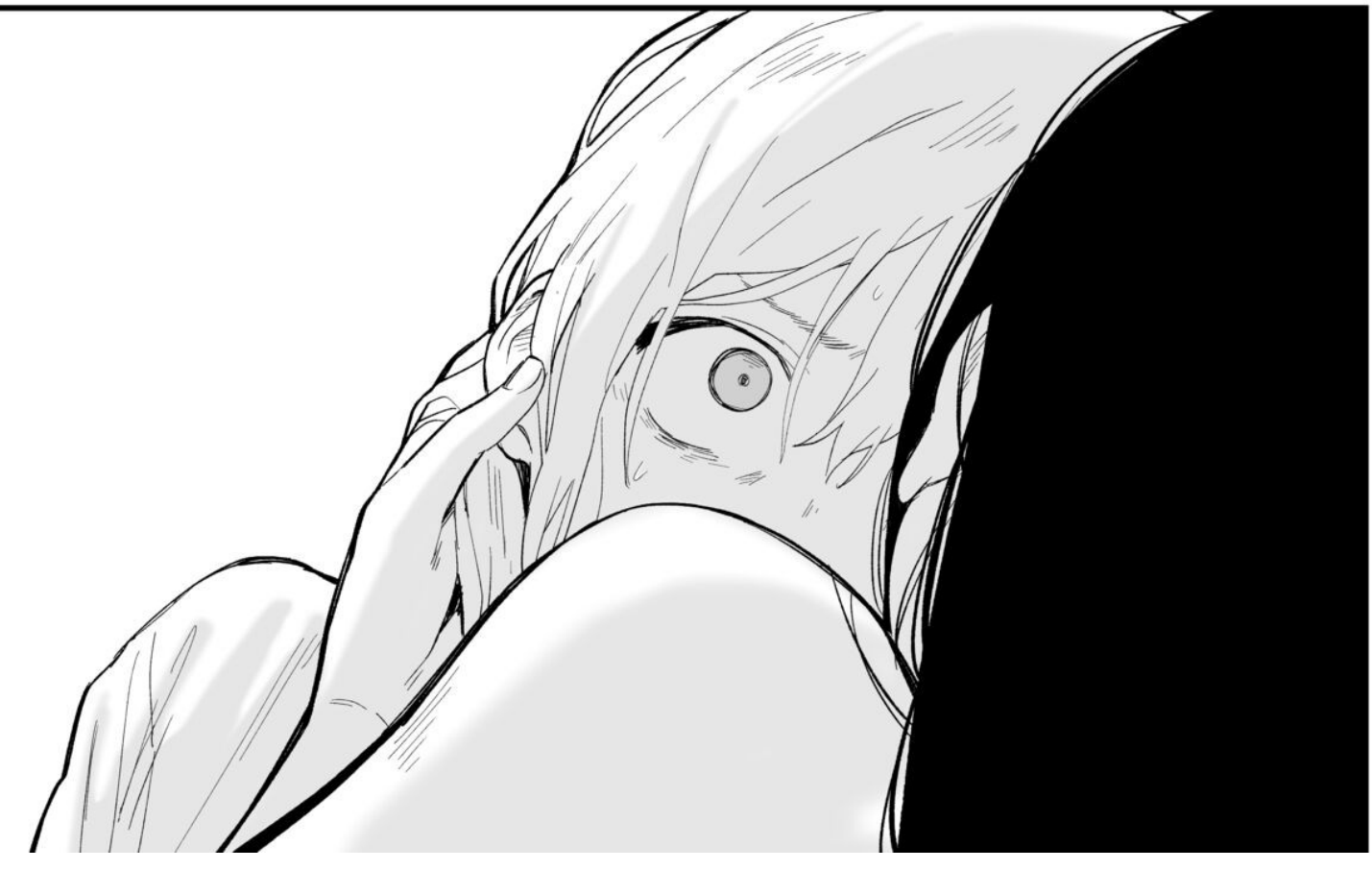

私はそういうの
すごくカッコいいと
思う
サラ…
男の子として


よく頑張ったね
ちゅっ♥


ボク頑張った
うん
すごく…
頑張ったんだ
辛かったね
何度も
何度も…
よし
よし
もう
だめかと…
大丈夫
大丈夫だよ
そうか…
僕は何一つ
間違ってなかった
ちゃんと伝わってる…
分かってくれる…

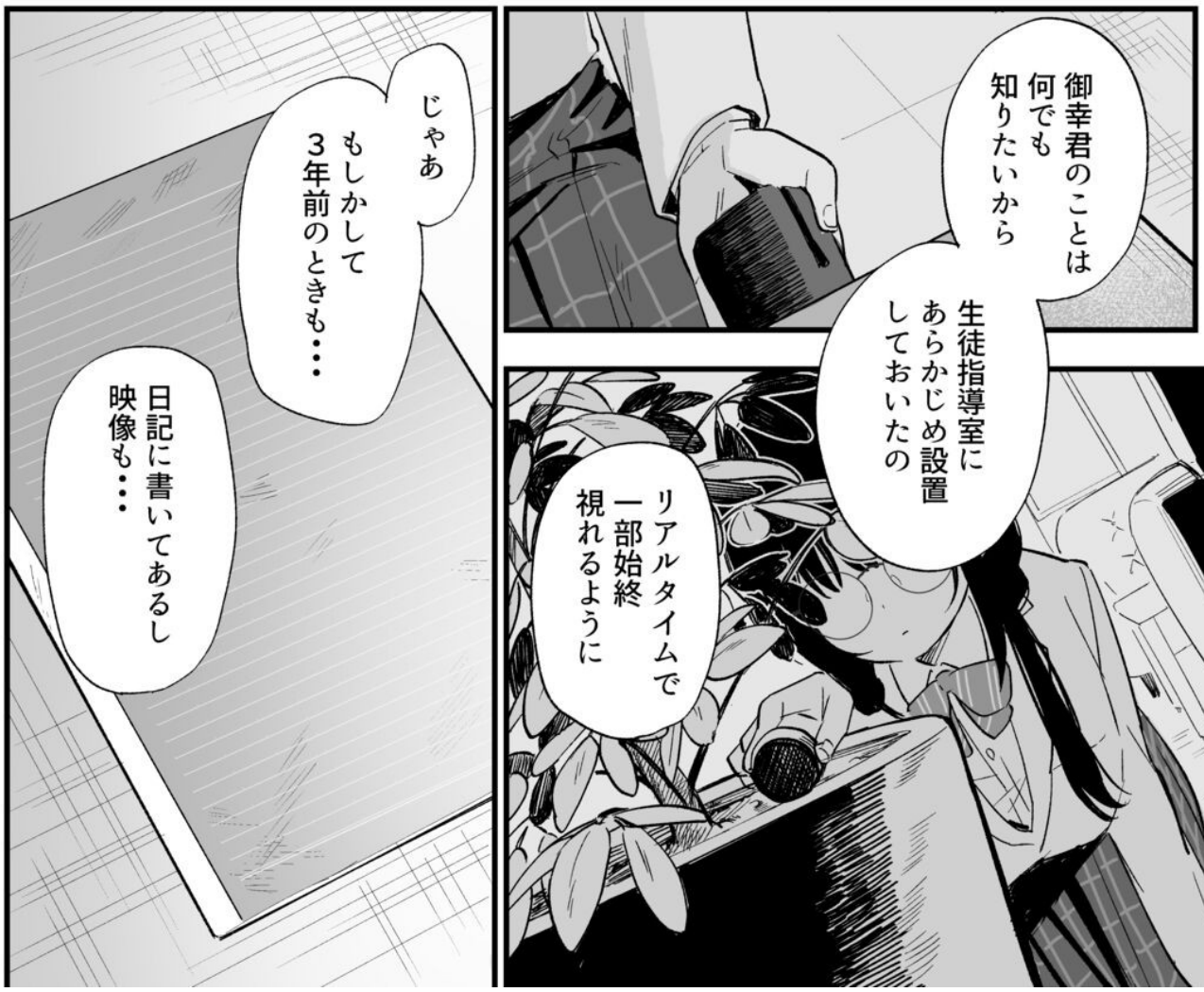

酷いよね
こんなに
可愛い御幸君を
寄ってたかって
可愛いなんて・・・そんな
ごめん
男の子だもんね


いいんだ
僕は
美羽子ちゃんにさえ
わかってもらって
いれば・・・
でもやっぱり
許せないよ
私が視てても
あんなに酷いこと
するなんて
御幸君の貞操を
奪おうとしたときは
流石にびっくりして
思わず無断で
校内放送なんて
かけちゃったりして




今・・・
なんて言ったの？
え？
だからあんなに
酷いことするなんて・・・


視てたの？
生徒指導室でのこと
あれ？
失神してて
聞こえなかった？


御幸君のことは
何でも
知りたいから
生徒指導室に
あらかじめ設置
しておいたの
リアルタイムで
一部始終
視れるように
じゃあ
もしかして
3年前のときも・・・
日記に書いてあるし
映像も・・・

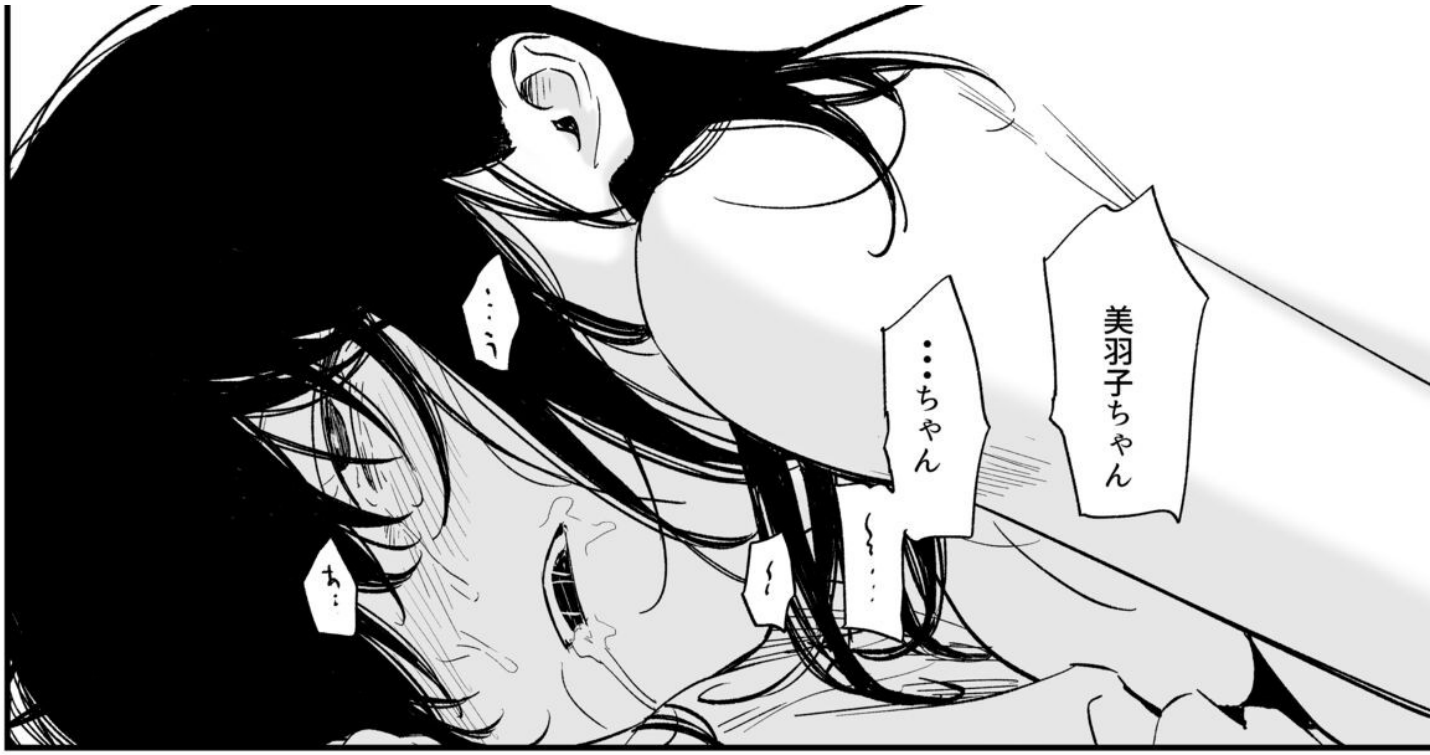

どうして
助けてくれなかったの？
え？
だって
私が邪魔をしたら
御幸君の努力が
無駄になる
だから私は
応援することにした
すご〜く
苦しかった
私も
けど・・・
もう一つ聞かせて
なに？


だったらどうして
そんなに
嬉しそうなの？
え？
あ…
あれ？
どうしてだろ
そんなことない
私今とても
苦しい
苦しいよ
苦しいはずなのに…
おかしいな
どうして？
私の
大好きな
御幸君が…
御幸君が…？

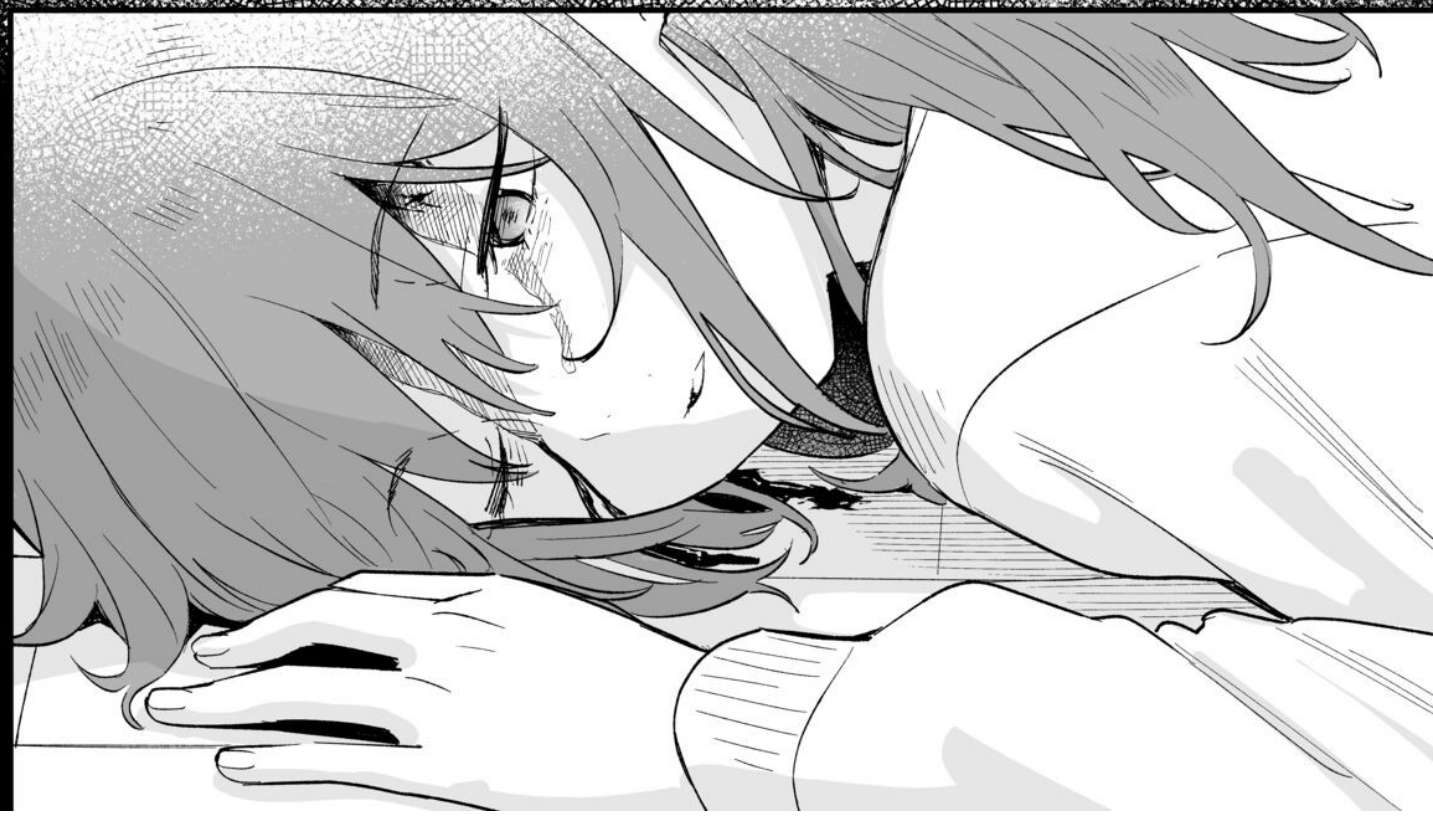

拘束
解(ほど)いてくれないかな
ど・・・どうして？
逆にどうして縛るの？
それは御幸君が逃げ出さないように・・・
解いて・・・
で
でも・・・
解いてよ!!


何とか
言ってよ！
どうして…
何も
言ってくれないの？
美羽子ちゃん…
～
…
はぁ
…さい
ケホ
はぁ
はぁ
ごっ
…なさい
ごめんなさい
はぁ
はぁ
はぁ
もう…しませ
かはっ
ゲホッ
はぁ
ヒュー
ヒュー
ゲホッ
ゴホッ
ガッ
しない…で
許して…さい
ヒュー
ヒュー
はぁ
はぁ
はぁ
カハッ
はぁ


はぁ
はぁ
はぁ
ヒュー
ヒュー
ゴフッ
はぁ
はぁ
ごめん
はぁはぁ
…さい
おぇっ
ヒュー
ヒュー
ゼェ
ゼェ
ヒュー
ヒュー
ゴッ
ゴッ
ヒュー
ヒュー
ヒュー

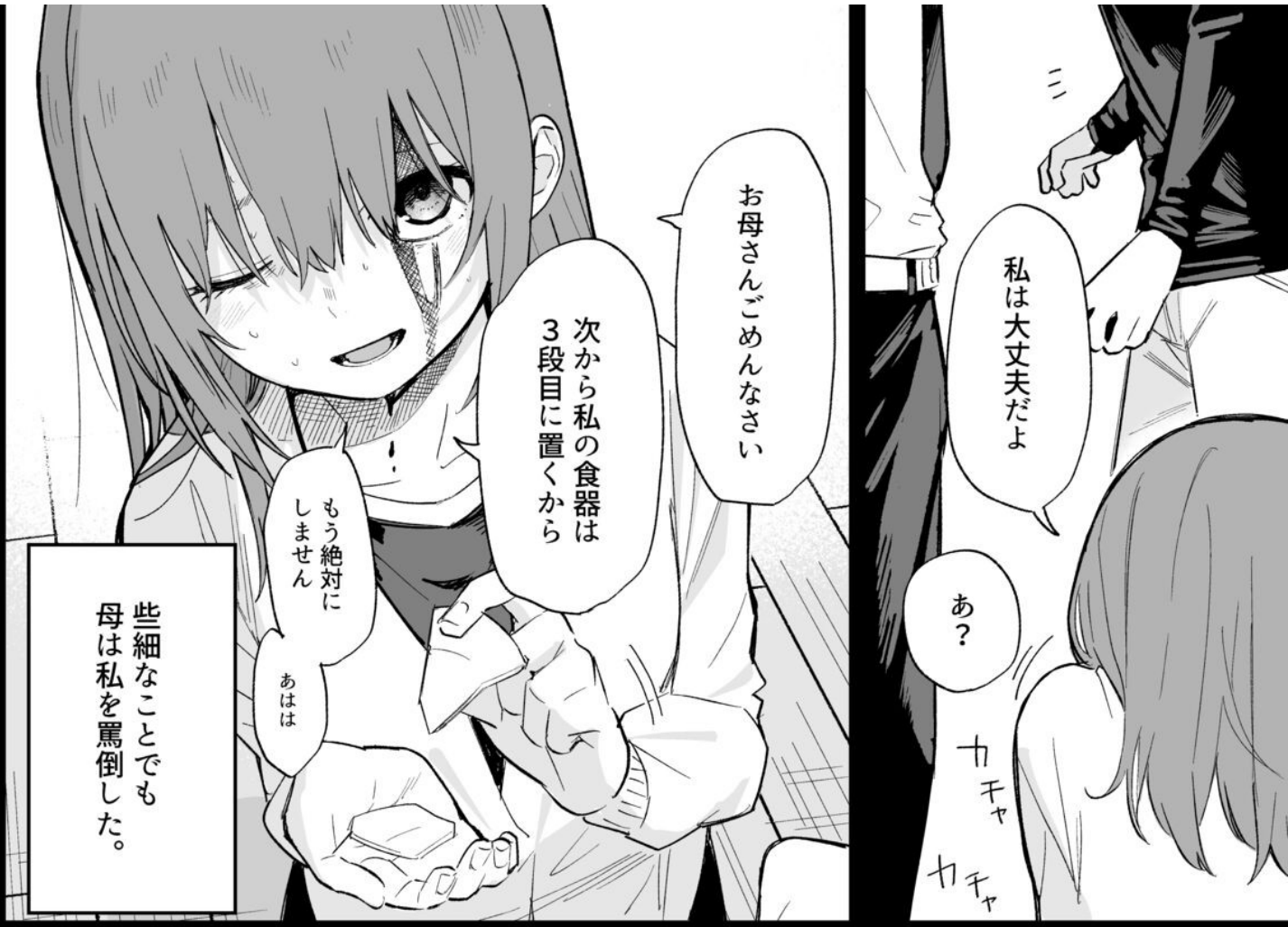

美羽子ちゃん
…ちゃん
～…
ち…
…う


ジョロロロ…




この子が悪いのよ！
言うこと聞かないから！
はぁ…
食器の位置なんて別にいいだろ一回くらい
ワタシは何度も口酸っぱく言った！


家のルールを守れないのが悪いのよ
見えるところに傷までつけて
学校から連絡があったらどうするんだ
道で転んだって言えば良いじゃない
まず皿を…
いつもの流れ。
母が私にあたり
父が仲裁に入る
そして私は——


私は大丈夫だよ
あ？
カチャ
カチャ
お母さんごめんなさい
次から私の食器は3段目に置くから
もう絶対にしません
あはは
些細なことでも母は私を罵倒した。


完璧を求められているのだと思った。
だって二人には育ててもらっているから。
私が頑張ればいい・・・
だから私は何においても全力で取り組むことにした。


おかあさん


金メダル
頑張って
部の大会で取ったよ
学校のステージでも
表彰されたの
あと定期テスト
私だけ
国語満点で…
ねぇ
それって
ワタシへの
当てつけの
つもり？
私
ただお母さんのために
頑張って…
ジュッ
ぐぐぐ
ふざけないでよっ!!


いたっ！
何だ
今の音！
こいつが
これみよがしに
見せつけて
きたのよ
ワタシへの
当てつけにね！
はぁ〜
そんなことで・・・
なに？
またそいつの
味方するの？
おい!!
本当の父親でも
ないのにっ!!
もういい歳
なんだからいいでしょ


本当の…
父親じゃない？
それはだな…
ちなみに
ワタシも
アンタを産んだ覚えは
ありませ～ん
…え？
仕方ないから
受け取っただけ
違うんだ
父さんたちが
中々子供を
授かれなくて…
本当の
両親はとっくに
死んでいました。
本当の母は
私を産んですぐに、
本当の父は
過労で。
母は私のためではなく、
ただストレスの捌け口に
していただけでした。
でも…

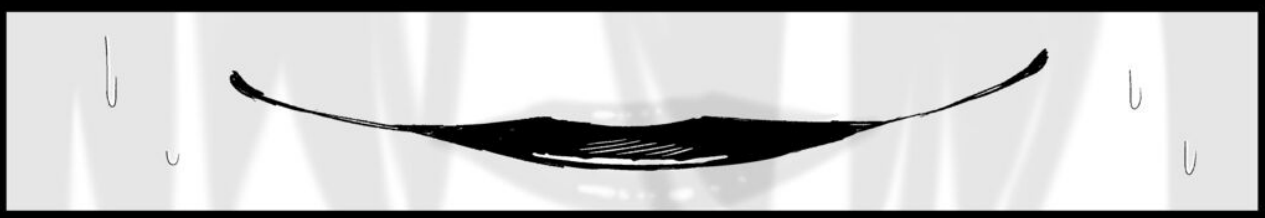

ごめんなさい
お父さんお母さん
これからは
大人くしているから
安心して
何も
しないから
私は二人のことが
大好きだよ
だから
喧嘩はやめて
あはは
今
笑う必要あるか？
気色悪いから
すぐやめなさい
はは…

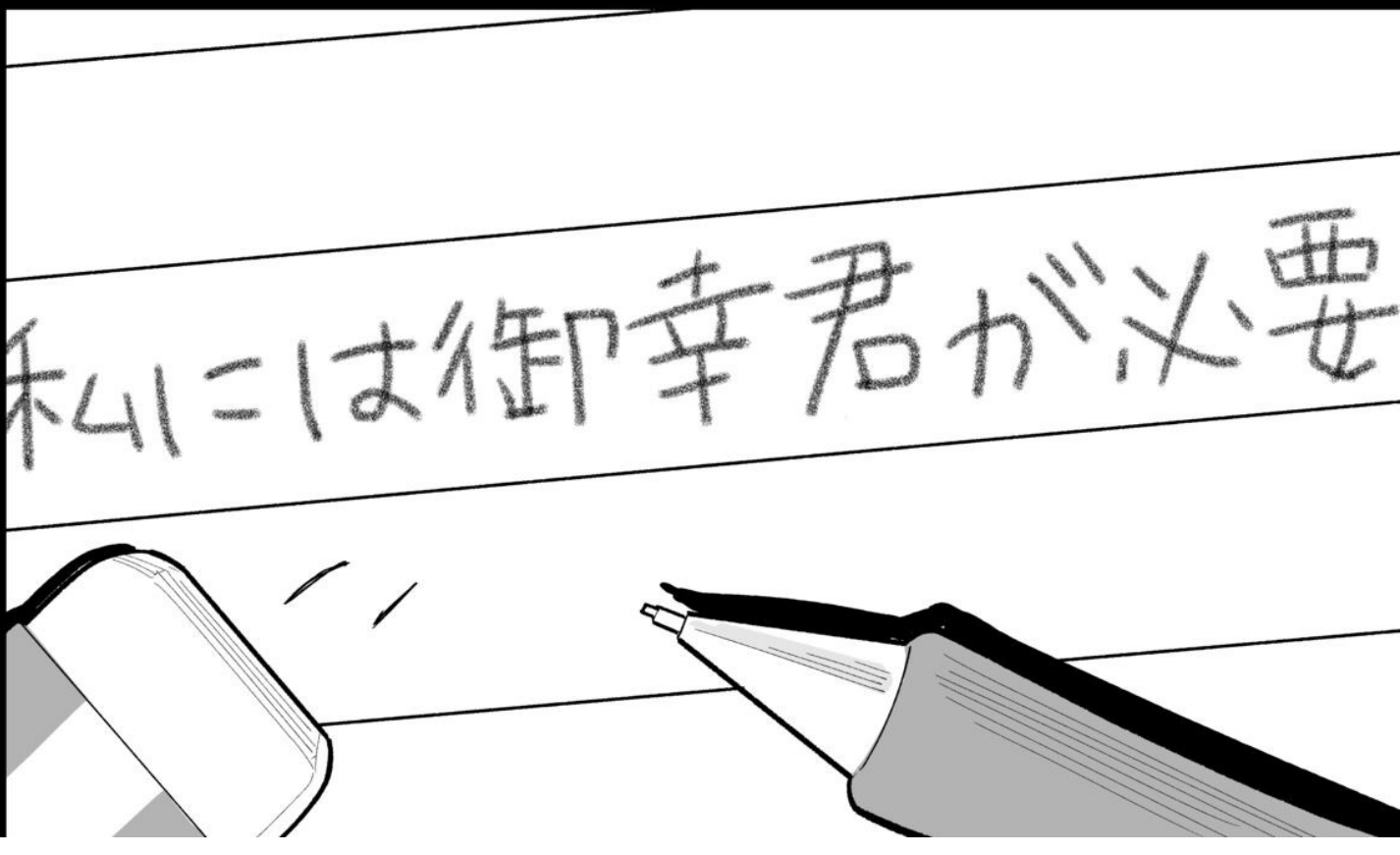

7組の三嶋君。

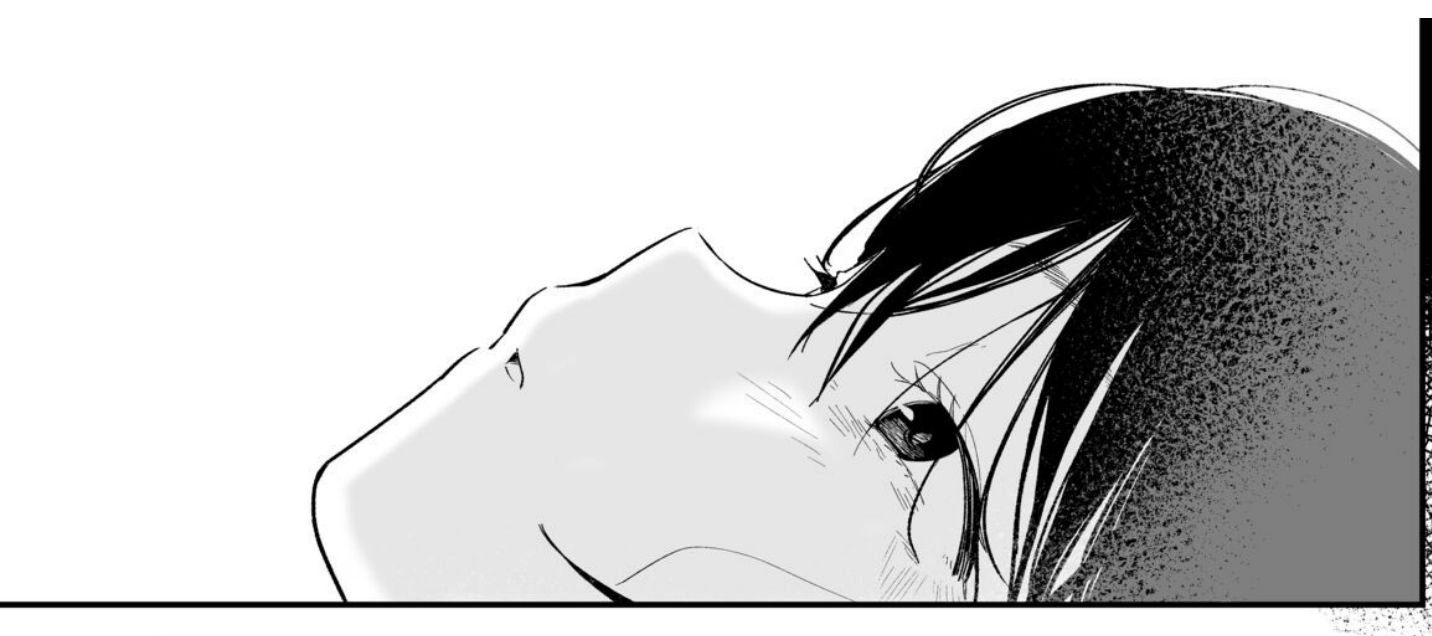

彼と
出会った時、
心の中のモヤモヤが
スーッと
消えていくのが
わかった。


私より
惨めな姿を
している
私より
心に深い傷を
負っている
私より
ずっと醜い顔を
している

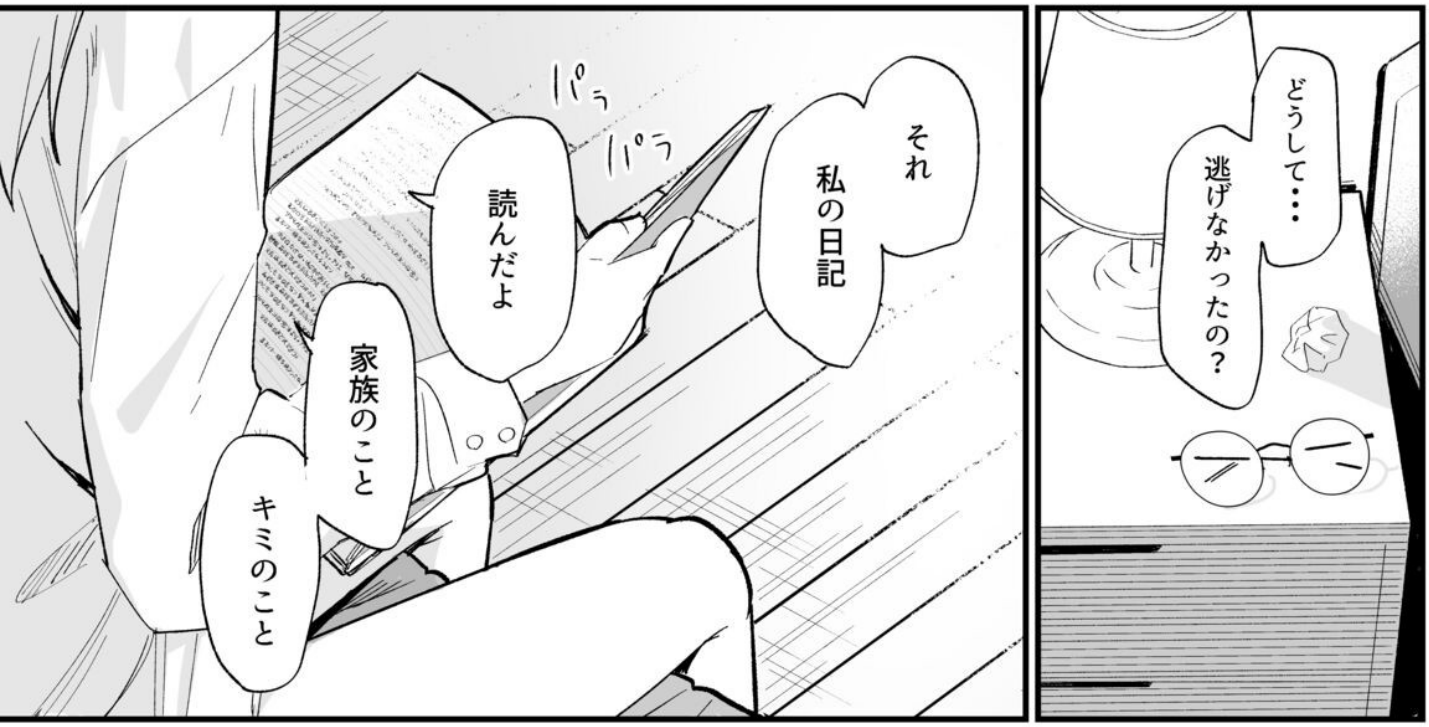

私より
辛そうな彼
私より
不幸な彼から
目が離せない




私には御幸君が必要

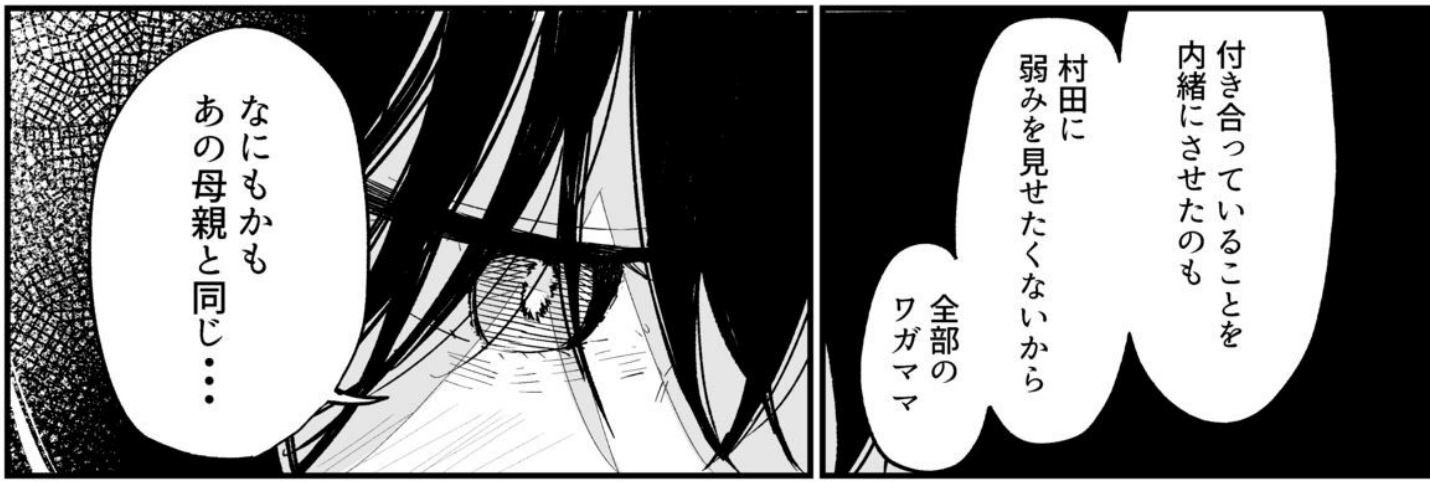


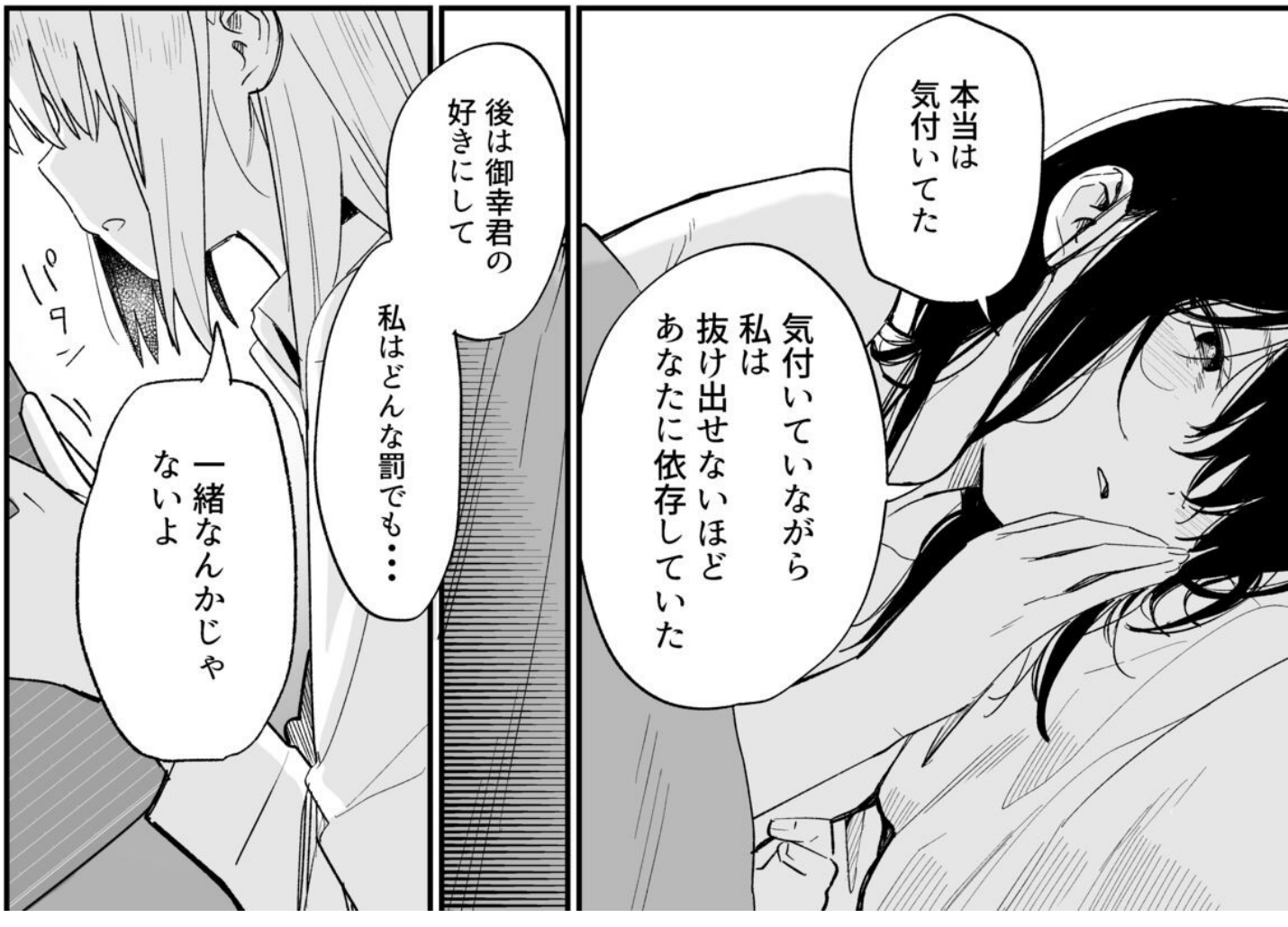

起きた？
…


どうして…
逃げなかったの？
それ
私の日記
読んだよ
家族のこと
キミのこと
パラ
パラ




だって
仕方ないでしょう？
あの夫婦は
他人同然で
私は養われて
いるだけの存在
だった
それに…
…ううん
ただの言い訳


付き合っていることを
内緒にさせたのも
村田に
弱みを見せたくないから
全部の
ワガママ
なにもかも
あの母親と同じ…


本当は
気付いてた
気付いていながら
私は
抜け出せないほど
あなたに依存していた
後は御幸君の
好きにして
私はどんな罰でも…
パタン
一緒なんかじゃ
ないよ

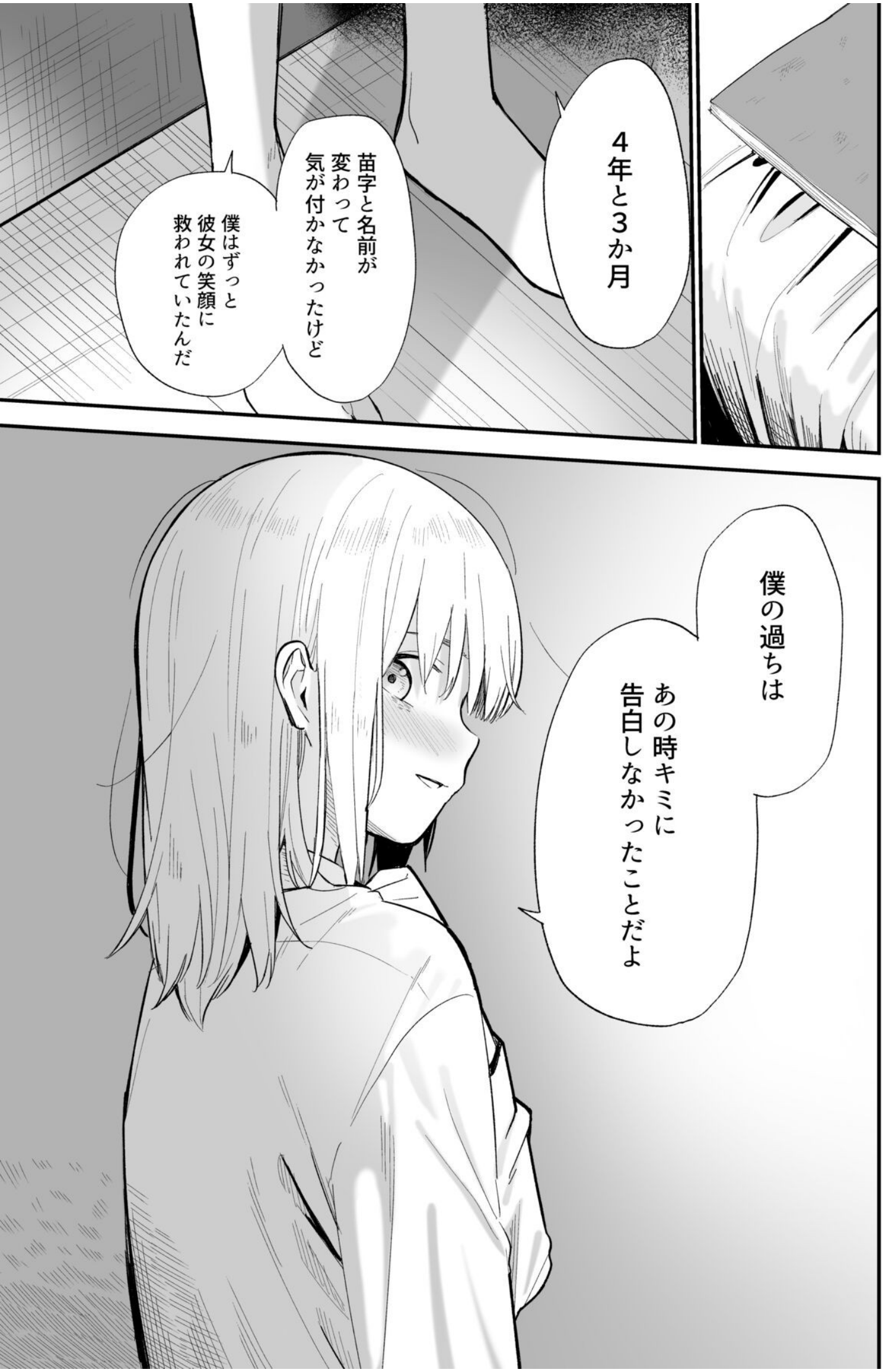

僕達は
ずっとお互いを
必要としていた
でも
私が御幸君に
向ける目は
ずっと歪んでいた
そんな私が
今更…
美羽子ちゃんてさ
僕の事
何でも知りたいん
だよね？
美羽子ちゃんが
知らないこと
あったよ
え？
僕が
美羽子ちゃんを
好きだった期間



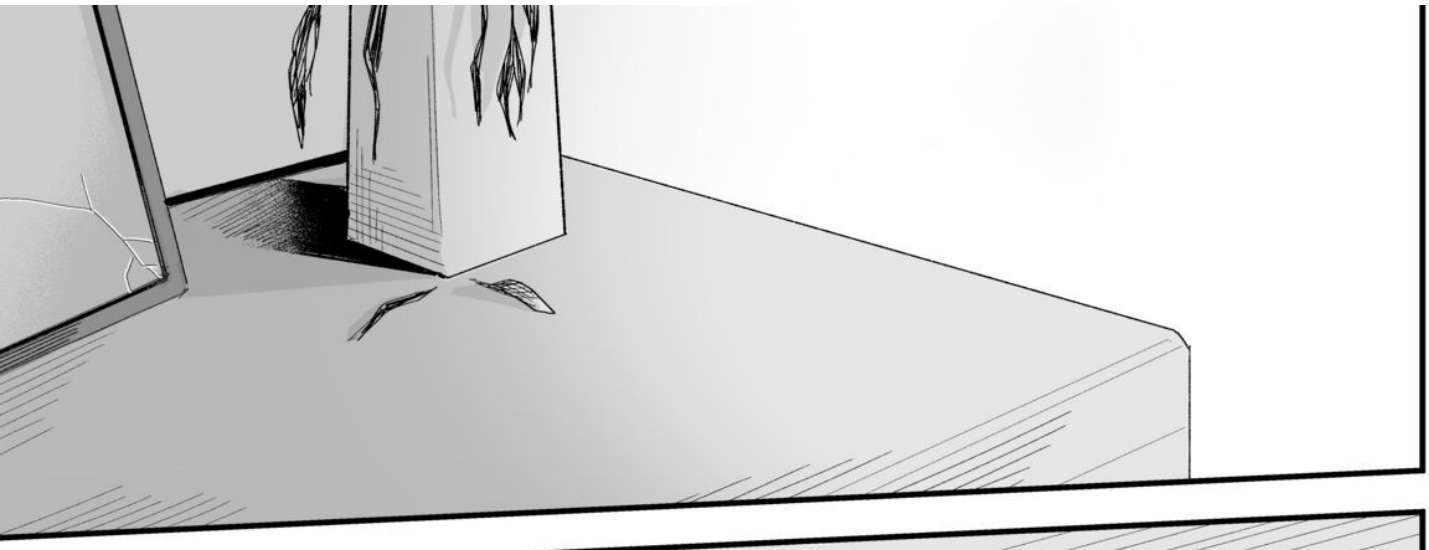

ドンッ
おい！
なんで夏に
長袖着てんだよ
しかも
こそこそトイレで
着替えて
そんで
ずーっと見学
それは・・・
こいつ本当は
女なんじゃね？
上脱ぐと
バレるから


女子は生理で
体育休むって
聞いたぜ
やめてっ
やめてよ！
脱がせりゃ
わかることだ
ドサッ
先生ー
三嶋君
見つけましたー
こっちです
やべっ
タタタタタ
三嶋君・・・で
あってるよね？


大丈夫？
始めは僕にだけ
優しいのだと
勘違いした
身体あんまり
良くないんだよね？
けれど彼女は
誰にでも笑顔を
振りまいていた
・・・そんなことは
どうでもよかった
たまたま
先生と話してる
ところを
聞いちゃって…
べつにわざと
じゃ…
僕にとっては
この笑顔だけが


4年と3か月
苗字と名前が
変わって
気が付かなかったけど
僕はずっと
彼女の笑顔に
救われていたんだ
僕の過ちは
あの時キミに
告白しなかったことだよ


僕の方が
長かったね
好きだった期間
まぁ…
美羽子ちゃんの方が
ウソだったら
話は別なんだけどさ
アハハ…
ぐっ…
…き
大好き
私も







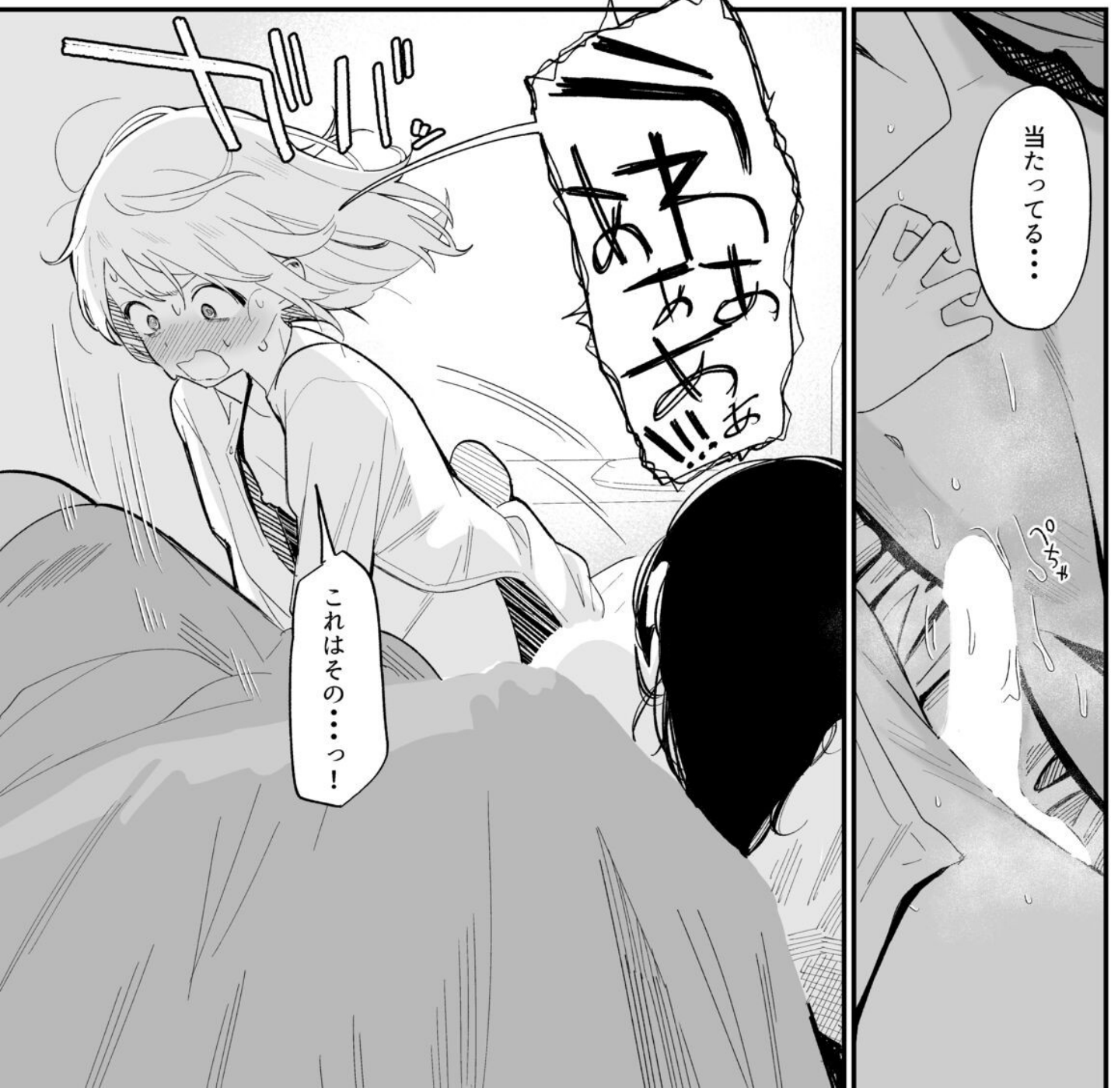

始めは
自分を慰めるため
だけの存在だった
けど御幸君のことを
ずっと視ていくうちに
知っていくうちに・・・
・・・好きに
なってた


運命だと
思った
同じ学校で
御幸君を
見つけて
そのあと
告白されて・・・


けど結局
同じことを
繰り返して
私は・・・
ギュ
いいんだ・・・
もう


名前と見た目が
変わっても
僕は同じ人を
好きになった
そう考えると
やっぱり
これは運・・・


御幸君・・・
うん？


当たってる・・・
ぺちゃ
あああああ!!!
これはその・・・っ！


いいよ


今更・・・
ピクッ
でしょ？
サワ


美羽子ちゃんっ!!


はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
今日は
感情が振り回されて
ぐちゃぐちゃだ
御幸君の…
好きにして
いっ…
いいの？
ぴと
けどもう
そんなことは
どうだっていい


だって…
ちらっ
美羽子ちゃん！
ぐっ
ぐっ
好きな子が
僕を視てくれて
いるんだから


!!?
くんくん
あ、
ちょっ…ちょっと
んん、
待っ…っ！
あぁっ
じゅる
じゅるる
じゅるる
じゅる


すずずずずず
びくんっ
びくんっ
だめ…っ!!
それダメっ…
ヤァァァ
はっ
はっ
はっ
はっ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ


ちょっとまって!!
いっかい休憩しよ？
ね？


好きにしていいって
言ったのは
美羽子ちゃん
だよ
ずっとずっと
こうしたかったんだ
美羽子ちゃんの姿を
目で追いながら
毎晩
妄想オナニー
してた
あっ
あっ
あん
うっ
んん
パチュン
パチュン
パチュン
パチュン
パチュン
パチュン
パチュン
知ってるよね
僕のことなら
なんでもっ


ぴゅっ
ぴゅる
ぴゅっ
はーっ
はーっ
はぁはぁ
はぁはぁ
ビュルルル
ズポッ
ぴゅっ
ぴゅるる
どぴゅ


!?
スッ
？
ぐいっ
？
？
？
？
？
？
？
スル
ん！やぁ…


れろ
れろ
!!
ぐぐっ
んっ
あっ
そこはダメっ
汚いから！
美羽子ちゃんだけ
僕のこと
知ってるなんて・・・
ズルいよっ!!


ビチュッ
ビチュッ
ビチュッ
ビチュン
ビチュッ
ビチュッ
ビチュン
ビチュッ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
すー
はー
すー
はー
じゅる
じゅる
びくっ
まぁぁっ
おっ
おっ
だっだめぇ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ビチュン
ビチュン
ビクッ


ヤメっ
ヤメテ
ヤメテ
ビクッ
ビクッ
ビクン
ビクッ


うっ
ぴくっ
びくっ
びくん
美羽子ちゃん
いまエッチしてて気になったことがあるんだ
？
3年前あの教室でさ・・・
日記ではうやむやにされてたけど・・・


僕の童貞奪った？

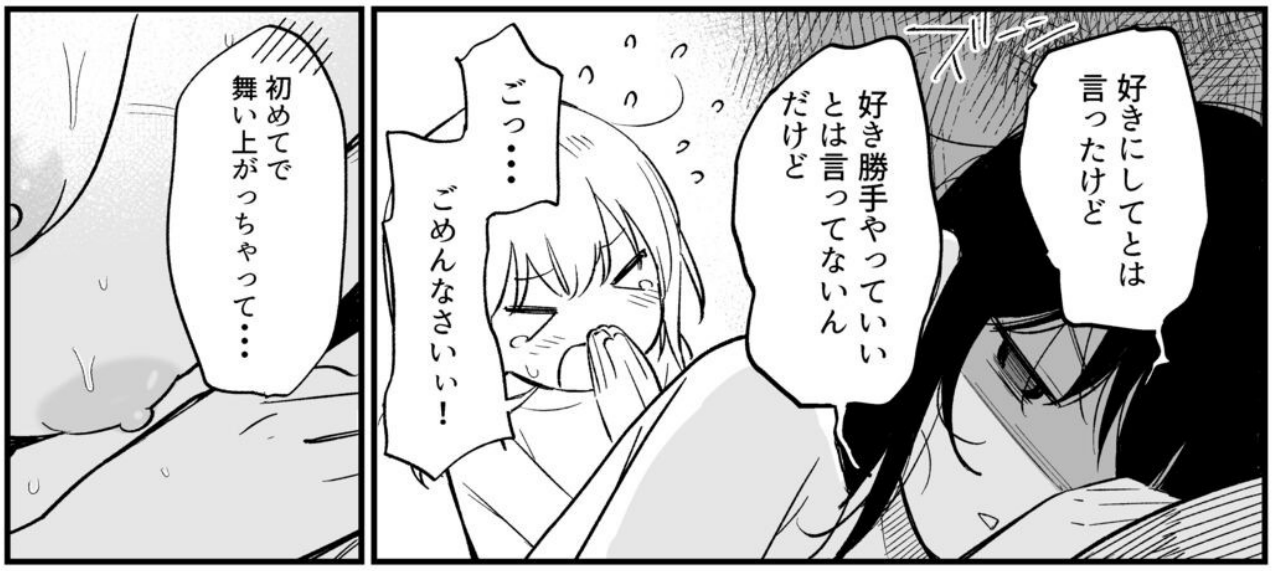

あ…あれ
そうだったかな
あの時は
気が動転してて
私もそこまで
覚えてなくて
ハッキリとは…
…ごめんなさい
やっぱり
!?
じゃあこれで
おあいこだね
しぱぁ


!!?
どちゅっ
あぁっ
んっ
あっ
んくっ
ドチュッ
ブチュッ
ズチュッ
ドチュッ
!!
ふぅ
ふぅ
にゅる
れろ
じゅる
ぬろ
ちゅうう

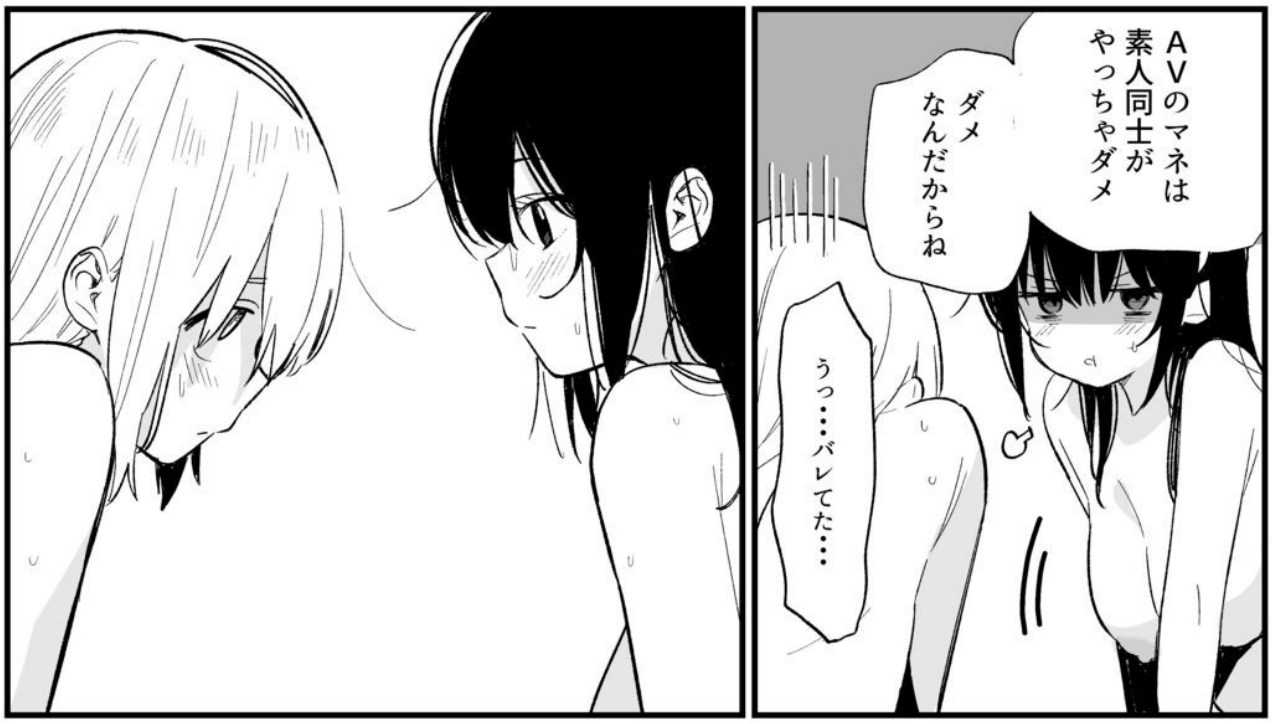

!?
美羽子ちゃん
また射精(だ)すよ！
子宮(なか)にっ！


ビィィィィィ
ブっ!!
ぐちゅっ
ぐぷっ
ぐぷぷぷぷ
はっ、はっ、はっ、
とぷっ


ふー
ふー
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ふー
ふー
ふー
ふー
きもち…
よかった……
ゴゴゴゴゴ
？
やぁっ!?


好きにしてとは言ったけど
好き勝手やっていいとは言ってないんだけど
ごっ…
ごめんなさいぃ！
初めてで舞い上がっちゃって…


でっ…でも
美羽子ちゃんだってさんざん僕に好き放題やってきたわけだし…
これくらい…
限度ってものがあるよ
わ…わたしのゴニョゴニョ…まで舐めて…


AVのマネは素人同士がやっちゃダメ
ダメなんだからね
うっ…バレてた…


ふふっ
あはは


やっぱり
御幸君って
男の子なんだね
さすさす
ごめんなさい・・・
いいよ
お互い様だから
え？
ううん
なんでもない
今度は
私がしてあげる


あっ
れろ
ちゅっ♡
ちゅっ♡
うっ
れろ
ちゅこ♡
れろ♡
クチュッ
ちゅろ
れろ♡
ぱぁ
れろ♡
クチュッ
グチュッ
ちゅぽっ♡
ぶちゅっ♡
ちゅぶっ♡
グチュッ
グチュッ


みゆふぃふん
（みゆきくん）
きもひいい？
（きもちいい？）
きっ
きもち・・・っ
いいですっ！


ドピュッ
ぴゅ
ぴゅるる
ぴゅく
ちゅぽっ♡
はぁはぁ
はぁはぁ
はぁ
はぁ


!?
ぴーーんっ
御幸君
何か
飲んできた？
……
女子の家なんて
初めてだったから
あせ
ためせ
万が一緊張で
勃たなかったら
と思って…
はは…
エッチする
前提なんだ…


ビクッ
くにくに
カァ
れろれろ
ちゅぱ
ちゅろ
あっ…んんっ
カァ…
ぶるっ
ぶるっ♡
かわいい♡
コリッ♡
ぐちゃっ
れぇ
じゃろ
!!
ビクッビクッ
ビュルルルッ
ぺちゃ


まだ全然元気
ごめん…
ぎゅっ
ぴと
触って？
むにっ
むにっ
むにっ
ん…
あっ
ハァ
ハァ


あんっ
くりくりくり
たぷんっ
たぷんっ♡
ぢゅぢゅぢゅ
あっあっあぁっ
ちゅっ♡
ちゅぷっ♡
ぞくっ
ちゅぽっ♡
ちゅっちゅこっ
ちゅうぅ
のびーん
ちゅうちゅうぅ
あんっ
あっあっ
んっんんっ
ぢゅぢゅ
じゅぽっ
ぐちゅぐちゅ
ぐんっ
びくっ
はぐっ
んくっ
あぁっ
ちゅっちゅっ♡


もう
ガマン
できないよ
！
ひとっ…
もう
ハァ…
ハァ…
ハァ…


ぬぷっ
ぬぷぷぷ
ぬぷぷぷ
ずぷっ…
挿入った
くぱぁ…
ずく
ずく♡
あっ
んっ
あんっ
キュッ
キュッ
ぬちゅ♡
クチュッ
クチュッ
ユサ
ユサ
ユサ
ヨン
ヨン
ヨン
ヨン
ニギッ


パチュッ
あんっ
んんっ
あっ
ズボッ
はぁ


ギシッ
みゆきくんっ
んんっ
みゆきくん
あっあっ
みゆきくんっ
あっあっ
あんっ
ブチュ
ブチュッ
ブチュ
!?
ドチュ
ドチュッ
パーチュ
パーチュパーチュ


!!?
御幸君
ちょっと
また…っ！
ごめん
美羽子ちゃん！
でも腰が
フワフワしてっ…
あぁ!!
かっ…
勝手に
…っ！
射精ちゃう…っ


ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ


ブポッ
はぁはぁ
……
たくさんわたしの
膣内に出しちゃって
はぁ…
はぁはぁ
はーっ
はーっ
はーっ
はーっ
出来たら
どうしよっか？
赤ちゃん♡
そ
そっ…
その時は
僕が責任取るよ！
…責任
って？
ビクッ
それは…
けっ
けっ…
グッ
けっこ…


ちゅ♡
!?
ちゅぱ
れろ
ちゅっ
はーっ
はーっ
はーっ
うん


美羽子ちゃんっ！


歯止めが
利かなくなった


それから
朝までずっと
尽きることはなく


僕は
美羽子ちゃんを
独り占めした


チュン
チュン
はー、
はー、
はー、
はー、
はー、
ドク
ドク
ドク…
ねえ
御幸君…


私の…
どういうところが好きだった？
…優しいところ
うん
…知的なところ
うん
笑顔が可愛い…ところ
…真面目なところ
うん
クニ
クニ
クニ
スチュ
スチュ
スチュ
ハイびくっ
びくっ


じゃあ
今は？
ビクンッ
ドピュッ
ドピュッ
ビュッ!!
はっ
はっ
はーっ
はっ
はーっ
はーっ
ふーっ
ふーっ


はぁ…
はぁ…
はぁ…
カチャ…
ふぅ…
はぁ…
今は…


意外と照れ屋で
怒りっぽいところ
うん
僕に引けを
取らないくらい
えっちなところ
うん
僕の事になると
見境なくなるところ
うん


その他
全部含めて
今も昔もずっと
美羽子ちゃんのことが
大好きだよ
美羽子ちゃんは？


私を救ってくれた
ところ
意外とお茶目で
可愛いところ
けど
やっぱりえっちで
男の子なところ
私にはもったいない
くらいカッコいい
ところ
私のことを・・・
ずっとみて
好きでいてくれた
ところ


じゃあ
僕達
相思相愛だね
大好きだよ
御幸君
fin


おまけ
美羽子ちゃん
？
この体勢
いい加減
キツイんだけど…
あと
体力的にも
かなり…
ええっ!!
御幸くんの願いは
できるだけ叶えて
あげたいけど
御幸くん
AVの体位ばかり
試すんだもん
…ごめんなさい
せっかく
御幸君の好みに
合わせてあげたのに
気付かないし…
え?今なんて…
なんでもない
じゃあ
続きやろっか
ひいっ！
おわり。

あとがき

この度は本誌をお手に取っていただき誠にありがとうございます。
今作はページ数を多くしてみましたが、いかがだったでしょうか。

まだ名前がTwitterだった頃、誰かが「可愛い子に生やせばそれは男の娘」
というツイートを見かけ、描いてみようと興味を持ったのが今作を描いた
きっかけです。
合わせて今回はページ数のことをあまり考えず、まとまったストーリーものを
描きたいということから始まりました。
しかし何度脚本やネームを考えても納得いかず、ひとまず出来ている
部分だけでもペン入れしてみましたが、４０ページほど描いた時点で挫折し、
他の仕事やらなにやらで一度頓挫してしまいました。
半年後くらいにまた描き始めようと奮起し、丁度タイミングよく冬コミの申し込み
期間が重なっていたため、だったら〆切を課す意味でもずっと憧れだった冬コミに
参加する意味でも、また頑張ろうと思うことができました。

元々描いていた序盤の４０ページもほぼ描き直し、エロをできるだけ
優先して不要だと思ったシーンはバッサリカットして、それでも4ヶ月ほどで
１５０ページ弱描けたのは自信になったと思います。
ちなみにカットしましたが美羽子の苗字と名前が変わった理由としては、
両親が離婚して母の旧姓になり苗字が宮下に、名前は学校側に申し出て通名の
美羽子になりました(その場に生徒指導の村田も同席してました)。
その後加筆やら追加やらまた描きたくなってページ数を増やし、自分を追い込んで
しまいましがいっかい地獄を見ておけば、次描くときのハードルが下がる
というのは何度も経験済みなので四苦八苦しながらでしたがやって良かったです。

一つテーマとして「共依存」の関係を描きたかったのですが伝わっていたら
嬉しいです。
他にも男の娘要素を描いてみたかったりと、描いている途中は時間を忘れて
描けました。

というわけで改めまして、ここまで読んでいただいてありがとうございました。
今後も新しい作品を描いていきたいのでよろしくお願いします。
それではまたどこかで。

豆六

●この作品はフィクションです。実在の人物・作品・団体・出来事などには関係ありません。
●この本は個人が非公式に発行したものです。そのため、公式設定に準拠していません。
●18歳未満の閲覧は禁止です。本書の転載、編集、トレース、転売、使用を禁止します。

●This is a work of fiction. Any resemblance to actual persons, living or dead, works, organizations, events, or locales is entirely coincidental.
●This work is an unofficial publication by a private individual.
It does not represent any official point of view.
●ADULTS ONLY 18+. DO NOT REPOST, EDIT, TRACE, RESELL OR USE MY WORKS.